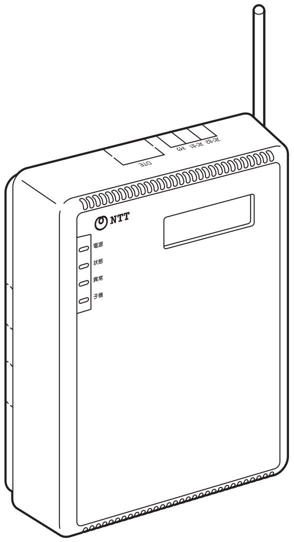
NTT

EL-1W通報装置

取扱説明書

このたびは、EL-1W通報装置をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な使いかた

設定と接続方法

付録

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意
本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用にあたってのお願い

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通報、通話などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを消去する必要があります。
本商品内に登録または保持されたデータの消去は、当社のサービス取扱所までご連絡ください。（有料）
- 本商品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので、絶対に行わないでください。
- 本商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- ワイヤレス子機またはワイヤレス子機Ｍをご利用になれる範囲は、本商品から見通し距離で電波の届く約50 m以内です。しかし、コンクリートパネル板で仕切られている場所やノイズとなる電波が強い場所など、周囲の状況によりこの範囲は狭くなることがあります。
- クイックマニュアルをご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みになり、ご理解いただいたうえでお使いください。
- 110番通報（緊急通報）に本商品を利用した場合、警察通信指令室側では一般の電話機からの通報か本商品からの通報かを区別することはできません。したがって、緊急通報動作を行うだけでは警察通信指令室に緊急事態が伝わりません。有効かつ的確な通報を行うためには、一般の電話機からの通報と同様に警察通信指令室と会話を行い、緊急事態を確実に伝えることが必要です。
- 110番は「緊急通報用」の電話です。緊急事態の発生（重大な事件、事故等）以外の原因で110番通報を行うことは絶対におやめください。
- 万が一誤って110番通報を行ってしまった場合は、必ず事情を説明し、誤報である旨を確実に伝えて電話を警察通信指令室から切断してもらってください。（こちらから切断することはできません。）
- 本商品は、通報先への通報が確実に完了することを約束するものではありません。回線の不通や機器の故障などの可能性も想定し、本商品を用いた通報伝達経路以外の方法（戸外スピーカを設置するなど）を別途ご用意いただくことをお勧めいたします。
- 本商品は以下のような場合などのとき、正常に通報できない可能性があります。
  - ワイヤレス子機またはワイヤレス子機Ｍが電波の届かないところにある。
  - 電池パックを取り付けていなかったり、電池容量が著しく減っているとき、本商品の電源プラグが外れている。
  - 妨害電波を受けている。
- ワイヤレス子機Ｍを利用し、通報宛先として110番を利用する場合は、必ず外部スピーカを接続してください。

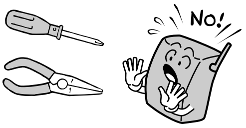
安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠危険

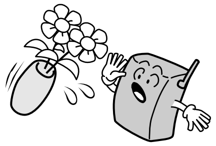
- 電池パックは、赤（プラス）・黒（マイナス）の向きが決められています。本商品に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
  - 火の中に投入したり、加熱しない。
  - 直接はんだ付けしない。
  - 赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない。
  - 水や海水につけたり、ぬらさない。
  - ネックレスなどの金属製品といっしょに持ち運んだり、保管しない。
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池パックは定期的に交換してください。交換時期を過ぎて使用した場合、電槽の破損により漏電の原因となることがあります。
  電池パックの交換については、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

⚠警告

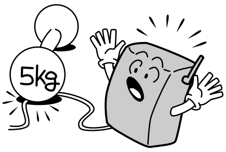
- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理は当社のサービス取扱所に依頼してください。



- 本商品のそばに水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品その他の容器、または小さな金属等を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードおよび電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードなどが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードや電話機コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。

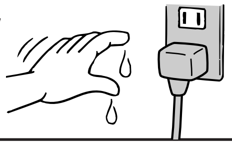


安全にお使いいただくために必ずお読みください

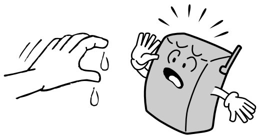
⚠警告

●電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。

●ぬれた手で電源プラグと電話機コードを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●ぬれた手で本商品を操作しないでください。感電の原因となることがあります。



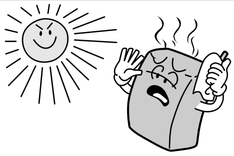
●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から１年に１回は、電源プラグを点検してください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

●本商品で指定されていない電池パックは使用しないでください。電池パックの破損、液もれにより火災・けがの原因となることがあります。

●電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

●直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



●本商品は、当社の提供する一般電話回線専用です。IP 網や CATV 網に接続することはできません。また、ターミナルアダプタ等のアナログポートや他の通信機器（ファクス等）を経由して接続しないでください。通報が正常に行われない場合があります。

●INS ネット 64 回線に接続する場合は、EL-1W ISDN 装置（オプション）を本商品の LINE コネクタに接続してください。ターミナルアダプタなどを接続する場合は、EL-1 ST ユニット（オプション）を EL-1W ISDN 装置に実装し、EL-1W ISDN 装置の S/T コネクタに接続してください。

●本商品は十分な強度のある壁に取り付けてください。

お使いのとき

⚠注意

- 本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。重みでネジが抜けて、けが、破損の原因となることがあります。
- 電源コードを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 本商品と電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

STOP お願い

- 本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
  万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

- 1か月に1回の割合で定期的にテスト通報を行い、本商品が正常に動作することを確認してください。

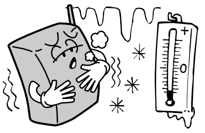
安全にお使いいただくために必ずお読みください

置き場所について

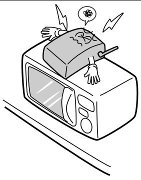
こんな場合は、通報ができなかったり、雑音が入ることがあります。

STOP お願い

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しなかったり、故障することがあります。



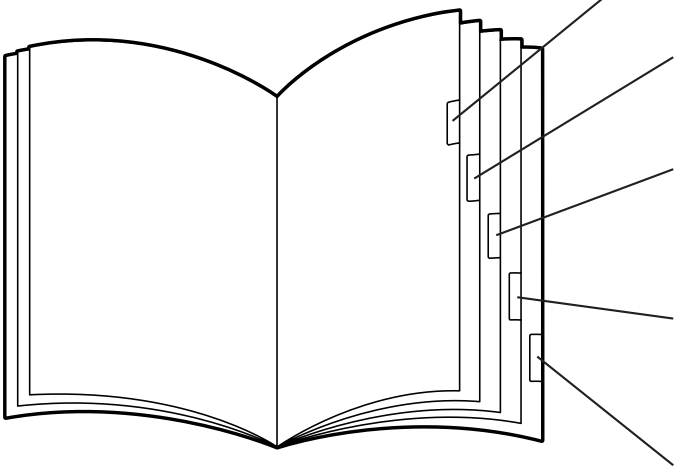
- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクス、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）



- 溶接機や高周波ミシンなど、電気的ノイズを発生するものの近くに置かないでください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなることがあります。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成



お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

基本的な使いかた
基本的な通報の方法について説明しています。

便利な使いかた
システムデータを設定することによってご利用になれる便利な機能を紹介しています。

設定と接続方法
配線、設置の方法、システムデータの設定方法、オプションのご使用方法などを説明しています。

付録
Q&A 形式での詳細説明、故障かな？と思ったときの確認方法、システムデータ設定一覧、索引などをまとめています。

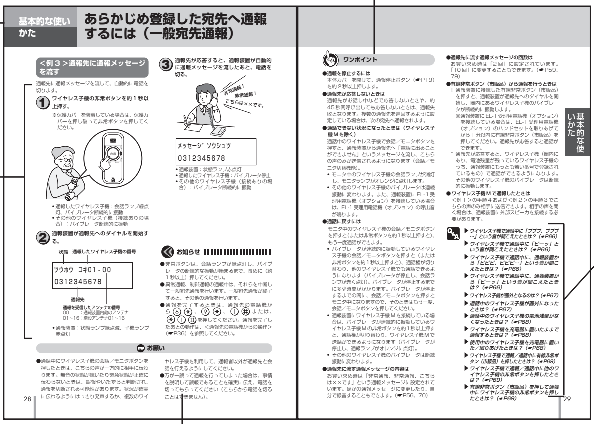
この取扱説明書の見かた

操作ページの構成

ワンポイント
本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

タイトル
操作目的ごとに、タイトルが付けられています。

操作手順説明
操作内容を示すイラストや、操作で使うボタン、ディスプレイに表示される内容などを示しています。



Q&A
「付録」に Q&A 形式で詳しく説明している事項を示しています。

お願いまたはお知らせ

＜お知らせ＞
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

＜お願い＞
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

●この取扱説明書では、EL-1W ワイヤレス子機を接続した場合を例として記載しています。
EL-1W ワイヤレス子機 M を接続したときに違いがある場合は、その違いを記載しています。

目　次

安全にお使いいただくために必ずお読みください ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

この取扱説明書の見かた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

目次 ・・・11

お使いになる前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
- 特長 ・・・12
- セットを確認してください ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
- 各部の名前とはたらき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- 壁に取り付けるには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
- 停電になったときのために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

基本的な使いかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
- あらかじめ登録した宛先へ通報するには（一般宛先通報）・・・・・・・・・・・・・・・・・26
- 「緊急通報」で通報して110番（警察通信指令室）と通話するには ・・・・・・・・・・・・30
- 「非常通報」で通報して110番（警察通信指令室）と通話するには ・・・・・・・・・・・・32

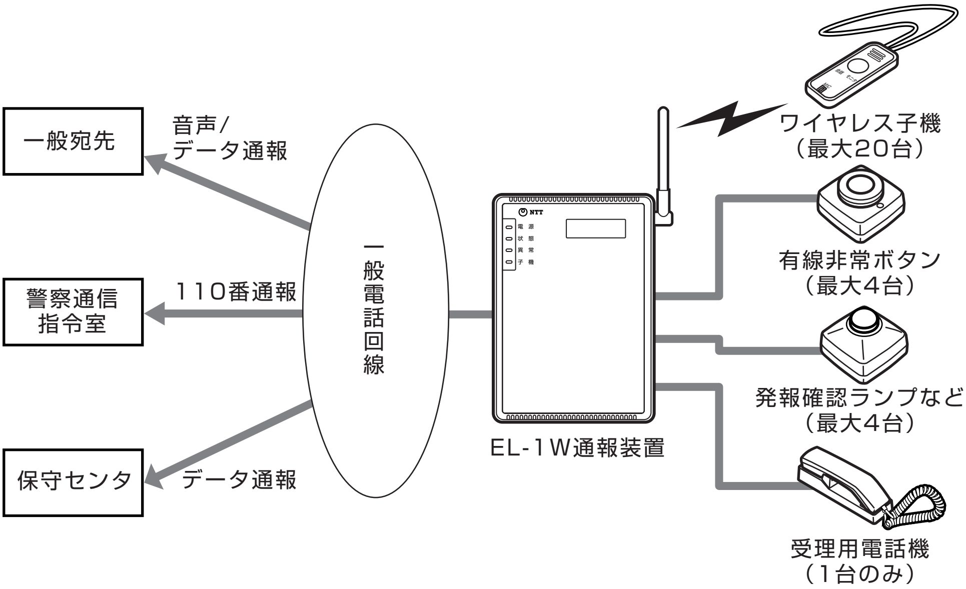
便利な使いかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
- 便利な機能のご紹介 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
- 万全な点検のための便利な機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39

設定と接続方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
- 配線・設置・設定の手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
- システムデータを設定するには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
- オプションをご利用になるには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61
- 配線のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64

付録 ・・・66
- Q&A ・・66
- システムデータ設定一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・70
- 故障かな？と思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・81
- 索引 ・・・82
- 仕様 ・・・84
- 保守サービスのご案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・85

特　長

本商品は、あらかじめ登録しておいた通報先に、簡単な操作で緊急通報ができる装置です。ワイヤレス子機や有線非常ボタン（市販品）、EL-1 受理用電話機（オプション）、EL-1 発報確認ランプ（オプション）などを組み合わせてお使いいただけます。また、110番（警察通信指令室）に通報を行うことができます。



ワンポイント

● **ワイヤレス子機のタイプは**

通報・通話ができるワイヤレス子機と送話のみで受話ができないワイヤレス子機Ｍがあります。（☛P61）
本書では、ワイヤレス子機を例として記載しています。

選べる通報の種類

あらかじめ登録しておいた宛先に通報（一般宛先通報）

ワイヤレス子機の非常ボタンを押すと、あらかじめ登録しておいた緊急連絡先へ通報できます。相手が応答すると通話できます。

P26

110 番へ緊急通報

ワイヤレス子機の非常ボタンを押して 110 番（警察通信指令室）へ通報し、通報を受けた警察が応答すると通話できます。

※緊急通報は、警察から非常通報装置の設置が許可されていない場合でも利用できます。

P30

110 番へ非常通報

ワイヤレス子機の非常ボタンを押して 110 番（警察通信指令室）へ通報し、あらかじめ設定されているメッセージを自動的に流します。通報を受けた警察から電話がかかってくるので、ワイヤレス子機を使って通話できます。

※非常通報は、警察から非常通報装置が設置可能と定められている場合のみ利用可能で、警察による事前の設置許可が必要です。

P32

特　長

その他の機能

各種オプション機器、市販品の接続が可能

ワイヤレス子機（オプション）のほかに、有線非常ボタン（市販品）、EL-1 受理用電話機（オプション）や EL-1 発報確認ランプ（オプション）などを組み合わせてお使いいただけます。

P61

INS ネット 64 回線にも接続可能

本商品に EL-1W ISDN 装置（オプション）を接続することにより、INS ネット 64 回線を利用することもできます。

P61

CS アンテナの増設が可能

増設 CS アンテナ収容装置（オプション）、増設 CS アンテナ（オプション）を利用することにより、最大 16 台の CS アンテナを増設し、通報／通話エリアを拡大することができます。

P62

わかりやすいディスプレイ表示

EL-1W 通報装置のディスプレイには、待機中は現在の日時、通報中は通報状態や通報宛先などが表示されます。また、EL-1W 通報装置のボタンとディスプレイを使用して、メンテナンスモードでさまざまな機能を設定することができます。

P18

通報関連のさまざまな機能

通報先にあらかじめ録音したメッセージを流す音声録音機能、通報の際に複数の通報先を巡回する通報巡回機能など、便利な機能を備えています。

P35,70

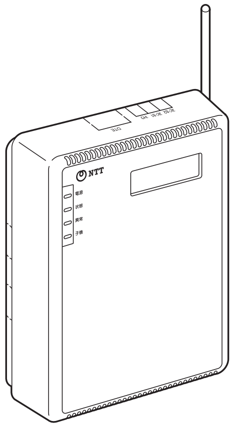
万全な点検・管理のための機能

機器の異常や停電などが発生したときに、保守センタなどに自動的に通報させることができます。

P39

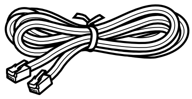
セットを確認してください

■本体

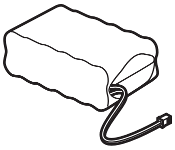


EL-1W 通報装置（1 台）

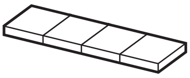
■付属品



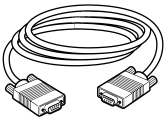
電話機コード（1 本：３ m）



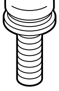
電池パック
（デンチパック-089）（1 個）



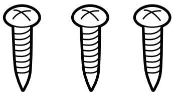
ゴム足（4 個）



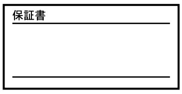
RS-232C ケーブル
（ストレート1 本：約 1.5 m）



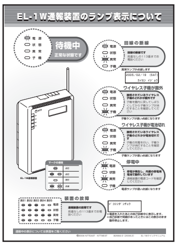
固定用特殊ネジ（1 本）



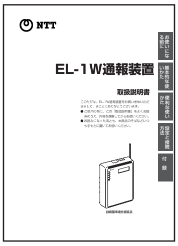
木ネジ（3 本：壁掛け用 2 本、
壁固定用 1 本）



保証書（1 枚）



クイックマニュアル（1 部）



取扱説明書（1 部）

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

各部の名前とはたらき

■外観

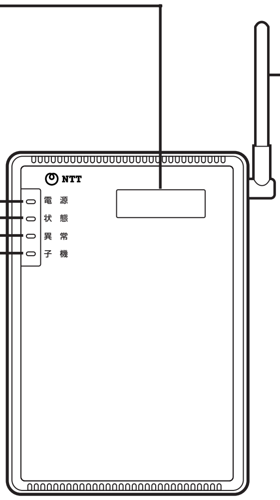
ディスプレイ
通報装置の状態が表示されます。通常は現在の日時が表示されています。

電源ランプ
通常は緑色に点灯しています。
赤色の点滅または点灯により、停電などの状態を示します。

状態ランプ
通常は消灯しています。
点灯または点滅により発信中や通話中などの状態を示します。

異常ランプ
通常は消灯しています。
通報装置に異常があるときに点滅します。

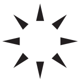
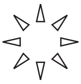
子機ランプ
通常は消灯しています。
点灯または点滅によりワイヤレス子機の状態を示します。



アンテナ

■ランプの表示について

この取扱説明書では、ランプの状態を次のように表します。

点灯 　点滅 

ランプの種類	ランプの色と状態	現在の状態
電源ランプ	緑：点灯	電源が入っています（通常の状態）。
	緑：点滅	110番（警察通信指令室）以外から電話がかかってきました。
	赤：点灯	電話がかかってきて、自動応答中です。
		リモートメンテナンス中です。
	赤：点滅	停電が発生しました。電池パックで動作しています。
状態ランプ	消灯	通常の状態です。
	緑：点滅	発信中または110番（警察通信指令室）以外から電話がかかってきました。
	赤：点灯	通話中です。
	赤：点滅	非常通報をした後、110番（警察通信指令室）から電話がかかってきました。
異常ランプ	消灯	通常の状態です。
	赤：点灯	電源を入れました。その後、消灯します。
	赤：点滅	異常が発生しました。
子機ランプ	消灯	通常の状態です。
	赤：点灯	ワイヤレス子機で発信または通話中です。
	赤：速く点滅	ワイヤレス子機が圏外にあります。
	赤：点滅	ワイヤレス子機の電池残量がありません。

各部の名前とはたらき

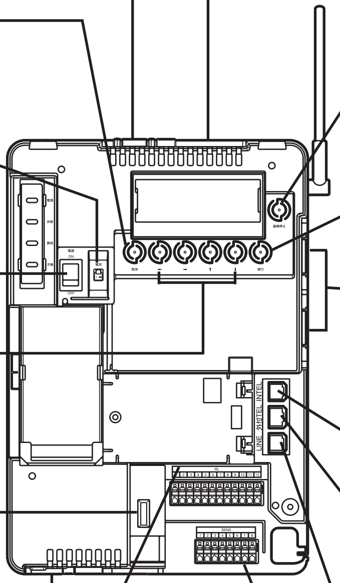
■ディスプレイの表示例

年　月　日　曜日 2005／02／19　(SAT) 20：05 時　分	待機状態です。
2005／02／19　(SAT) テイデ゛ン	電池パックで動作しています。
2005／02／19　(SAT) カイセン　イシ゛ョウ	回線異常です。
2005／02／19　(SAT) コキケンカ゛イ　01-00 ※1　※2	ワイヤレス子機が圏外です。 ※１ 通報したワイヤレス子機の番号 ※２ 通報を受信したアンテナの番号 00　　　：通報装置内蔵のアンテナ 01～16：増設アンテナ 01～16
テストモート゛ キョウタイ　イシ゛ョウ	本体カバーを開くとテストモードになり、約 20 秒後に「キョウタイ　イジョウ」と表示します。 筐体異常通報後のテストモードのときに表示します。
2005／02／19　(SAT) キョウタイ　イシ゛ョウ	本体カバーが開いた状態でモードの変更が約２時間以上ないときに表示します。

■曜日表示の対応表

曜日	表示
月	MON
火	TUE
水	WED
木	THU
金	FRI
土	SAT
日	SUN

■本体カバー取り外し時



RS-232C 端子
設定を行うときに、パソコンを接続します。本商品とパソコンの接続には、付属品のRS-232Cケーブル（D-sub9 ピンストレートケーブル）を使用します。

取消ボタン
各種機能を設定するときに使います。（☛P45、51）

電池パックコネクタ差込口
電池パックのコネクタを差し込みます。

電源スイッチ

←→↑↓ボタン
各種機能を設定するときに使います。（☛P51）

タンパスイッチ
本体カバーが開いたことを検出します。

FG 端子
アース線を接続します。
※アース線は、お手元の環境に合った長さのものを別途お買い求めください。

RL コネクタ
EL-1 発報確認ランプ（オプション）や発報用ブザー（市販品）などを接続します。

外部機器接続端子
外部マイク（市販品）や外部スピーカ（市販品）などを接続する端子です。

通報停止ボタン
通報を停止するときなどに使います。
※110番（警察通信指令室）への通報は停止できません。

実行ボタン
各種機能を設定するときに使います。（☛P51）

増設 CS アンテナ収容装置用接続端子
EL-1W 増設 CS アンテナ収容装置（オプション）を接続します。

INTEL コネクタ
EL-1 受理用電話機（オプション）を接続します。

外付 TEL コネクタ
お手持ちの電話機を接続します。
※EL-1W ISDN装置（オプション）をLINEコネクタに接続する場合は使用できません。

LINE コネクタ
アナログ回線や EL-1W ISDN装置（オプション）を接続します。

SENS コネクタ
有線非常ボタン（市販品）を接続します。

ワンポイント

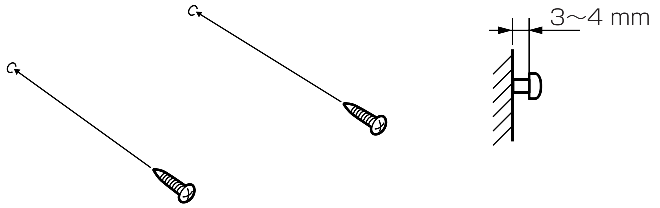
- **EL-1W ISDN装置の使用時にお手持ちの電話機を接続するには**
  EL-1W ISDN装置にEL-1 STユニット（オプション）を取り付け、ターミナルアダプタ（市販品）をEL-1W ISDN装置のS/Tコネクタに接続してください。お手持ちの電話機は、ターミナルアダプタの電話機ポートに接続します。

壁に取り付けるには

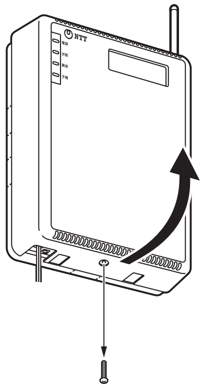
通報装置は、壁に取り付けて使用します。付属品の木ネジ３本を使って壁や柱に取り付けてください。

1. **２本の木ネジの取り付け位置（左右幅 108 mm）を決める。**
木ネジを壁に取り付ける際は、ページの下に記載の矢印の間隔にネジを取り付けてください。

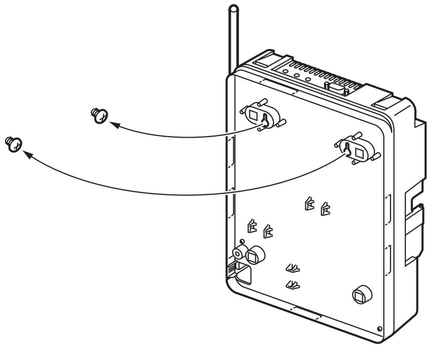
2. **木ネジ２本を壁に取り付ける。**
このときネジの頭を壁より約３～４ mm 程度出した状態にしてください。



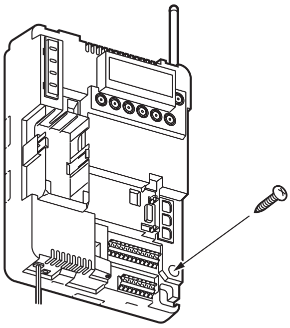
3. **通報装置下部の固定用ネジを外し、本体カバーのツメ（2 か所）を手前に持ち上げ、本体カバーを外す。**



4. **通報装置の背面上部のひょうたん穴を壁に取り付けた木ネジに引っ掛ける。**



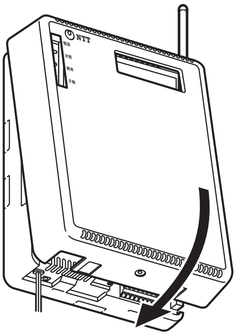
5 **残っている 1 本の木ネジで本体を壁に固定する。**



6 **電源プラグをコンセント（AC100 V）に差し込む。**

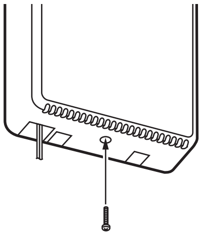
7 **本体カバーを取り付ける。**

本体カバーの上部を通報装置の上部に引っかけ、本体カバーの下部をツメがパチッと音がするまで押して取り付けます。



8 **通報装置下部の固定用ネジを締める。**

※破損の原因になりますので、ネジを強く締めすぎないようご注意ください。



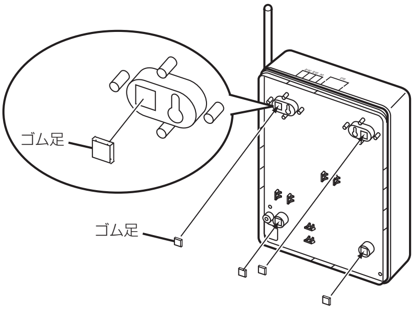
（次ページに続く）

壁に取り付けるには

ワンポイント

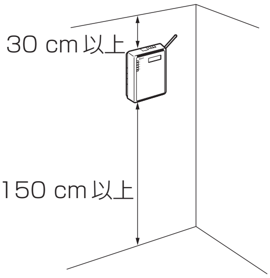
● **通報装置下部の固定用ネジに特殊ネジを使用するには**
通報装置下部の固定用ネジを外し、付属品の固定用特殊ネジを取り付けてください。

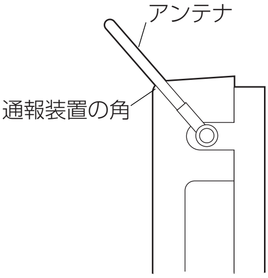
● **横置きにして使用するには**
通報装置を壁掛けにしないで、横置きにしてお使いになることもできます。横置きにする場合は、付属品のゴム足（4 個）を通報装置の裏面に貼り付けてください。



お願い

●通報装置を壁に取り付けるときは、電波の届く範囲を確保するために、以下の条件で取り付けてください。
・床から 150 cm 以上のところに設置してください。
・通報装置の上側は天井から 30 cm 以上離してください。
・金属製の壁などには取り付けないでください。
・アンテナの向きは、横から見たときに通報装置の角に合うように調整してください。





●通報装置を横置きにして使用するときは、電波の届く範囲を確保するために、以下の条件で使用してください。
・床から 150 cm 以上のところに設置してください。
・通報装置の上側は天井から 30 cm 以上離してください。
・金属製の机や棚などには置かないでください。
・アンテナの向きは、横から見たときに通報装置の角に合うように調整してください。
●ワイヤレス子機からの電波が届く範囲は、通報装置から 50 m 程度（見通し距離）です。あらかじめ圏外（ワイヤレス子機の会話ランプが赤く点滅）にならない範囲を確認してください。

⚠注意	ドアの近くやベニヤ板などの薄い板壁、ボード板（石膏板）などの壁に本商品を取り付けないでください。振動や自らの重みで落下して、けが、破損の原因となることがあります。

停電になったときのために

停電になったときでも通報ができるように、電池パック（デンチパック-089）を取り付けます。

電池パックを取り付ける

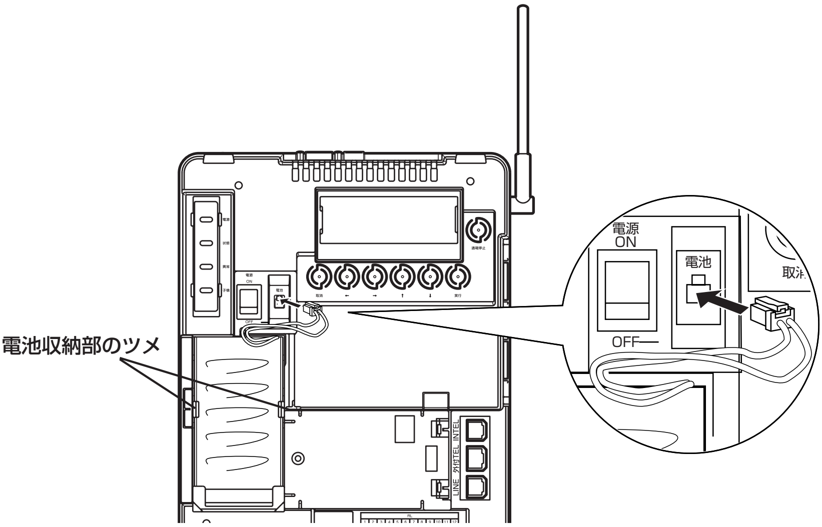
電池パック（デンチパック-089）は消耗品です。停電が発生しなかった場合でも、約３年ごとに必ず交換してください。
電池パックの購入については、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。

1. **本商品下部の固定用ネジを外し、本体カバーのツメ（2 か所）を手前に持ち上げ、本体カバーを外す。**

2. **電源スイッチをオフにする。**

3. **電池収納部のツメを両側に広げて電池パックを装着する。**

4. **電池パックのコネクタを差込口に差し込む。**
   コネクタの向きを間違えないようにして、奥まで確実に差し込みます。
   電池パックのコードは下図のように通してください。



5. **電源スイッチをオンにする。**

（次ページに続く）

停電になったときのために

⑥ 本体カバーを取り付け、通報装置下部の固定用ネジを締める。
※破損の原因になりますので、ネジを強く締めすぎないようご注意ください。

ワンポイント

● **電池パックの使用可能時間は**
フル充電の状態で約６時間（EL-1W 増設 CS アンテナ収容装置（オプション）接続時は約３時間）使用できます。フル充電には約 48 時間かかります。停電になってから約６時間以内（EL-1W 増設 CS アンテナ収容装置（オプション）接続時は約３時間以内）であれば１回以上の通報が可能です。ただし、オプション機器の接続台数や接続した機器の使用状態などによって、停電開始から６時間以内（EL-1W 増設 CS アンテナ収容装置（オプション）接続時は３時間以内）であっても通報が行えないことがあります。

● **電池パック回収のお願い**
Ni-MH
電池パックはリサイクル可能なニッケル水素電池です。交換のときは当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

お知らせ

● 電池パックを取り付けていなかったり、電池容量が著しく減っていると、停電発生と同時にシステムが停止してしまいます。

お願い

● 電池パックのコードを、無理に引っ張ったり、コネクタを無理に差し込んだりしないでください。
● 初めてお使いになるときや電池パックを交換したときは、必ず 48 時間以上充電してください。48 時間以上充電する前に停電になった場合は、電池パックで動作しません。
● 電池パックの取り付けは、あらかじめ静電気を除去してから行ってください。
● 電池パックを取り付けたあと、電源スイッチは必ずオンにしてください。電源スイッチがオフになっていると、電池パックは働きません。

⚠注意	電池パックの充電温度範囲は０～40 ℃です。この温度範囲以外で充電すると、液もれや発熱などが起こったり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
⚠危険	●電池パックについて 電池パックの取り扱いは、次の点にご注意ください。 ・必ず専用のものをお使いください。 ・取り出して充電しないでください。 ・火の中に投入したり、分解・過熱しないでください。

停電になったときは

停電になると、自動的に電池パックにより動作して、電源ランプが赤色で点滅します。電池パックがフル充電の状態で、停電になってから約６時間以内（EL-1W 増設 CS アンテナ収容装置（オプション）接続時は約３時間以内）であれば、１回以上の通報が可能です。ただし、オプション機器の接続台数や接続した機器の使用状態などによって、停電開始から６時間以内（EL-1W 増設 CS アンテナ収容装置（オプション）接続時は３時間以内）であっても通報が行えないことがあります。
停電が復旧すると、電源ランプが緑色で点灯します。

ワンポイント

● **停電になったとき／復旧したときに自動的に通報するには**
通報の有無（P93）（☛P60、80）の停電／復電通報有無を「1 ：する」に設定しておくと、停電になったとき／復旧したときに、あらかじめ登録している宛先へ自動的に通報されます。ただし、通報受信側に専用のセンタ装置が必要となります。お買い求め時は「0 ：しない」に設定されています。

あらかじめ登録した宛先へ通報するには（一般宛先通報）

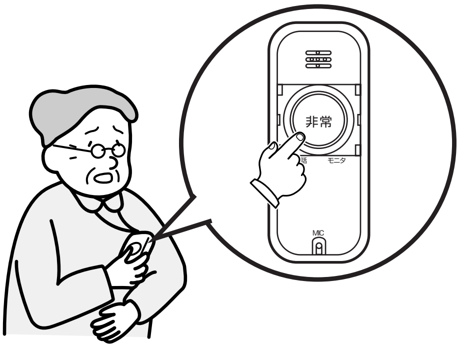
緊急時に、あらかじめ登録しておいた緊急連絡先へ、ワイヤレス子機を使って通報できます。通報の宛先は最大８件まで登録できます。お買い求め時は、通報先１、２、３が応答するまで通報するように設定されています。
通報の流れは、システムデータの設定内容によって異なります。以下に通報例を示します。

＜例１＞通報先に通報メッセージを流してから通話する

通報メッセージを通報先に流してから、ワイヤレス子機で通報先と通話します。

1 ワイヤレス子機の非常ボタンを約１秒以上押す。

※保護カバーを装着している場合は、保護カバーを押し破って非常ボタンを押してください。



- 通報したワイヤレス子機：会話ランプ緑点灯、バイブレータ断続的に振動
- その他のワイヤレス子機（接続ありの場合）：バイブレータ断続的に振動

2 通報装置が通報先へのダイヤルを開始する。

状態　通報したワイヤレス子機の番号

```
ツウホウ　コキ01-00
0312345678
```

通報先

通報を受信したアンテナの番号
00　　　：通報装置内蔵のアンテナ
01～16：増設アンテナ01～16

- 通報装置：状態ランプ緑点滅、子機ランプ赤点灯

3 通報先が応答すると、通報装置が自動的に通報メッセージを流す。

```
メッセーシ゛ソウシュツ
0312345678
```

- 通報装置：状態ランプ赤点灯
- 通報したワイヤレス子機：バイブレータ停止
- その他のワイヤレス子機（接続ありの場合）：バイブレータ断続的に振動

4 ワイヤレス子機で通話する。

レシーバを耳にあて、マイクに向かってお話しします。

```
ツウワチュウ　コキ01-00
0312345678
```

- 通報したワイヤレス子機：会話ランプ赤点灯

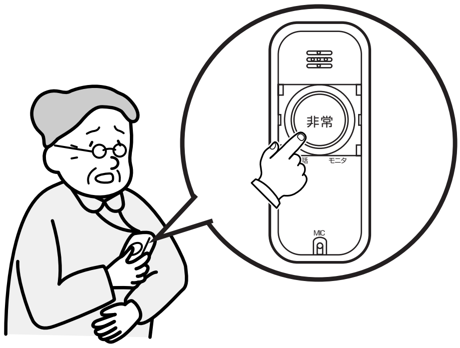
※通報先が電話を切ると自動的に通話が終了します（こちらから切ることはできません）。

<例 2 >通報先が応答してから通話する

通報先へ通報したあと、ワイヤレス子機で通報先と通話します。

1 ワイヤレス子機の非常ボタンを約 1 秒以上押す。

※保護カバーを装着している場合は、保護カバーを押し破って非常ボタンを押してください。



- 通報したワイヤレス子機：会話ランプ緑点灯、バイブレータ断続的に振動
- その他のワイヤレス子機（接続ありの場合）：バイブレータ断続的に振動

2 通報装置が通報先へのダイヤルを開始する。

状態　通報したワイヤレス子機の番号

```
ツウホウ　コキ01-00
0312345678
```

通報先

通報を受信したアンテナの番号
00　　　：通報装置内蔵のアンテナ
01～16：増設アンテナ01～16

- 通報装置：状態ランプ緑点滅、子機ランプ赤点灯

3 通報先が応答したら、ワイヤレス子機で通話する。

レシーバを耳にあて、マイクに向かってお話しします。

```
ツウワチュウ　コキ01-00
0312345678
```

- 通報装置：状態ランプ赤点灯
- 通報したワイヤレス子機：会話ランプ赤点灯、バイブレータ停止
- その他のワイヤレス子機（接続ありの場合）：バイブレータ断続的に振動

※通報先が電話を切ると自動的に通話が終了します（こちらから切ることはできません）。

お知らせ

●〈例 1、例 2 のとき〉
ワイヤレス子機や受理用電話機（オプション）との通話は約 30 秒で切れます。（お買い求め時の設定）通報先の電話機から ⑥ ㊊ を押すと通話時間を 30 秒から無制限に延長し、通報装置に対して通報完了確認の信号を送ります。（☛P36）

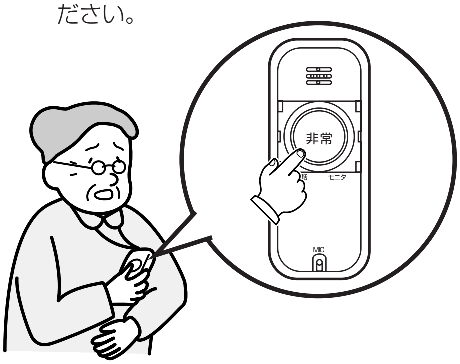
あらかじめ登録した宛先へ通報するには（一般宛先通報）

＜例３＞通報先に通報メッセージを流す

通報先に通報メッセージを流して、自動的に電話を切ります。

1 ワイヤレス子機の非常ボタンを約１秒以上押す。

※保護カバーを装着している場合は、保護カバーを押し破って非常ボタンを押してください。



- 通報したワイヤレス子機：会話ランプ緑点灯、バイブレータ断続的に振動
- その他のワイヤレス子機（接続ありの場合）：バイブレータ断続的に振動

2 通報装置が通報先へのダイヤルを開始する。

状態　通報したワイヤレス子機の番号

ツウホウ　コキ01-00
0312345678

通報先

通報を受信したアンテナの番号
00　　　：通報装置内蔵のアンテナ
01～16：増設アンテナ01～16

- 通報装置：状態ランプ緑点滅、子機ランプ赤点灯

3 通報先が応答すると、通報装置が自動的に通報メッセージを流したあと、電話を切る。

ﾒｯｾｰｼﾞ ｿｳｼｭﾂ
0312345678

- 通報装置：状態ランプ赤点灯
- 通報したワイヤレス子機：バイブレータ停止
- その他のワイヤレス子機（接続ありの場合）：バイブレータ断続的に振動

お知らせ

- 非常ボタンは、会話ランプが緑点灯し、バイブレータの断続的な振動が始まるまで、長めに（約１秒以上）押してください。
- 異常通報、制御通報の通報中は、それらを中断して一般宛先通報を行います。一般宛先通報が終了すると、その他の通報を行います。
- 通報を完了するときは、通報先の電話機から ⑥ ＊、⑨ ＊、① ＃ または、＊ ① ＃ を押してください。通報を完了したあとの動作は、＜通報先の電話機からの操作＞（☛P36）を参照してください。

お願い

- 通話中にワイヤレス子機の会話／モニタボタンを押したときは、こちらの声が一方的に相手に伝わります。無音の状態が続いたり緊急状態が正確に伝わらないときは、誤報やいたずらと判断され、通報を切断される可能性があります。状況が確実に伝わるようにはっきり発声するか、複数のワイヤレス子機を利用して、通報者以外が通報先と会話を行えるようにしてください。
- 万が一誤って通報を行ってしまった場合は、事情を説明して誤報であることを確実に伝え、電話を切ってもらってください（こちらから電話を切ることはできません）。

ワンポイント

●通報を停止するには
本体カバーを開けて、通報停止ボタン（☛P19）を約２秒以上押します。

●通報先が応答しないときは
通報先がお話し中などで応答しないときや、約45秒間呼び出しても応答しないときは、通報失敗となります。複数の通報先を巡回するように設定している場合は、次の宛先へ通報されます。

●通話できない状況になったときは（ワイヤレス子機Ｍを除く）
通話中のワイヤレス子機で会話／モニタボタンを押すと、通報装置から通報先へ「電話に出ることができません」というメッセージを流し、こちらの声のみが送信されるようになります（会話／モニタ切替機能）。

- モニタ中のワイヤレス子機の会話ランプが消灯し、モニタランプがオレンジに点灯します。
- その他のワイヤレス子機のバイブレータは連続振動に変わります。また、通報装置にEL-1受理用電話機（オプション）を接続している場合は、EL-1受理用電話機（オプション）の呼出音が鳴ります。

●通話に戻すには
モニタ中のワイヤレス子機の会話／モニタボタンを押すと(または非常ボタンを約１秒以上押すと)、もう一度通話ができます。

- バイブレータが連続的に振動しているワイヤレス子機の会話／モニタボタンを押すと（または非常ボタンを約１秒以上押すと)、通話権が切り替わり、他のワイヤレス子機でも通話できるようになります（バイブレータが停止し、会話ランプが赤く点灯)。バイブレータが停止するまでに多少時間がかかります。バイブレータが停止するまでの間に、会話／モニタボタンを押すとモニタ中になりますので、そのときはもう一度、会話／モニタボタンを押してください。
- 通報装置にワイヤレス子機Ｍを接続している場合は、バイブレータが連続的に振動しているワイヤレス子機Ｍの非常ボタンを約１秒以上押すと、通話権が切り替わり、ワイヤレス子機Ｍで送話ができるようになります（バイブレータが停止し、通報ランプがオレンジに点灯)。
- その他のワイヤレス子機のバイブレータは断続振動に変わります。

●通報先に流す通報メッセージの内容は
お買い求め時は「非常通報、非常通報、こちらは××です」という通報メッセージに設定されています。ほかの通報メッセージに変更したり、自分で録音することもできます。（☛P56、70）

●通報先に流す通報メッセージの回数は
お買い求め時は「２回」に設定されています。「10回」に変更することもできます。（☛P59、79）

●有線非常ボタン（市販品）から通報を行うときは
①通報装置に接続した有線非常ボタン（市販品）を押すと、通報装置が通報先へのダイヤルを開始し、圏内にあるワイヤレス子機のバイブレータが断続的に振動します。
※通報装置にEL-1受理用電話機（オプション）を接続している場合は、EL-1受理用電話機（オプション）のハンドセットを取りあげてから１分以内に有線非常ボタン（市販品）を押してください。通報先が応答すると通話ができます。
②通報先が応答すると、ワイヤレス子機（圏内にあり、電池残量が残っているワイヤレス子機のうち、通報装置にもっとも若い番号で登録されているもの）で通話ができるようになります。その他のワイヤレス子機のバイブレータは断続的に振動します。

● ワイヤレス子機Ｍで通報したときは
<例１>の手順４および<例２>の手順３でこちらの声のみ相手に送信できます。相手の声を聞く場合は、通報装置に外部スピーカを接続する必要があります。

Q&A

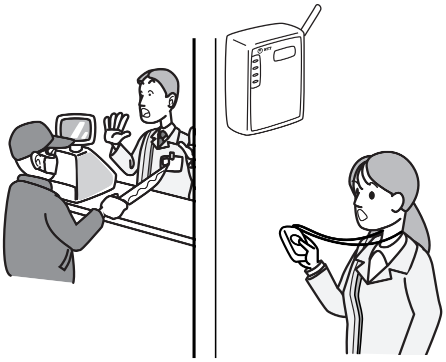
- ▶ *ワイヤレス子機で通話中に「プププ、プププ…」という音が聞こえたときは？（☛P66）*
- ▶ *ワイヤレス子機で通話中に「ピーッ」という音が聞こえたときは？（☛P66）*
- ▶ *ワイヤレス子機で通話中に、通報装置から「ピピピ、ピピピ…」という音が聞こえたときは？（☛P66）*
- ▶ *ワイヤレス子機で通話中に、通報装置から「ピーッ」という音が聞こえたときは？（☛P66）*
- ▶ *ワイヤレス子機が圏外となるのは？（☛P67）*
- ▶ *通話中のワイヤレス子機が圏外になったときは？（☛P67）*
- ▶ *通話中のワイヤレス子機の電池残量がなくなったときは？（☛P68）*
- ▶ *ワイヤレス子機を充電器に置いたままで通報するときは？（☛P68）*
- ▶ *使用中のワイヤレス子機を充電器に置いた／取りあげたときは？（☛P68）*
- ▶ *ワイヤレス子機で通報／通話中に有線非常ボタン（市販品）を押したときは？（☛P69）*
- ▶ *ワイヤレス子機で通報／通話中に他のワイヤレス子機の非常ボタンを押したときは？（☛P69）*
- ▶ *有線非常ボタン（市販品）を押して通報中にワイヤレス子機の非常ボタンを押したときは？（☛P69）*

「緊急通報」で通報して110番（警察通信指令室）と通話するには

警察から非常通報装置の設置が許可されていない場合でも、次の方法で110番（警察通信指令室）へ通報することができます。

1 ワイヤレス子機の非常ボタンを約1秒以上押す。

※保護カバーを取り付けている場合は、保護カバーを押し破って非常ボタンを押してください。



- 通報したワイヤレス子機：会話ランプ緑点灯、バイブレータ断続的に振動
- その他のワイヤレス子機（接続ありの場合）：バイブレータ断続的に振動

2 通報装置が110番（警察通信指令室）へのダイヤルを開始する。

状態　通報したワイヤレス子機の番号

ツウホウ　コキ01 - 00
110

通報先

通報を受信したアンテナの番号
00　　　：通報装置内蔵のアンテナ
01～16：増設アンテナ01～16

- 通報装置：状態ランプ緑点滅、子機ランプ赤点灯

3 110番（警察通信指令室）が応答する。

ツウワチュウ　コキ01 - 00
110

- 通報装置：状態ランプ赤点灯
- 通報したワイヤレス子機：会話ランプ赤点灯、バイブレータ停止
- その他のワイヤレス子機（接続ありの場合）：バイブレータ断続的に振動

4 ワイヤレス子機で通話する。

レシーバを耳にあて、マイクに向かってお話しします。

※110番（警察通信指令室）が電話を切ると自動的に通話が終了します。（こちらから切ることはできません。）

ワンポイント

- **ワイヤレス子機Ｍで通報したときは**
  手順４でこちらの声のみ相手に送信できます。相手の声を聞く場合は、通報装置に外部スピーカを接続する必要があります。
- **一般宛先への通報が設定されていると**
  １１０番（警察通信指令室）側が通話を終了したあと、自動的に一般通報先へ通報が開始されます。
- **通話できない状況になったときは（☛P29）**
- **有線非常ボタン（市販品）から通報を行うときは**
  ①通報装置に接続した有線非常ボタン（市販品）を押すと、通報装置が通報先へのダイヤルを開始し、圏内にあるワイヤレス子機のバイブレータが断続的に振動します。
  ※通報装置にEL-1受理用電話機（オプション）を接続している場合は、EL-1受理用電話機（オプション）のハンドセットを取りあげてから１分以内に有線非常ボタン（市販品）を押してください。通報先が応答すると通話ができます。
  ②通報先が応答すると、ワイヤレス子機（圏内にあり、電池残量が残っているワイヤレス子機のうち、通報装置にもっとも若い番号で登録されているもの）で通話ができるようになります。その他のワイヤレス子機のバイブレータは断続的に振動します。

お知らせ

- 非常ボタンは、会話ランプが緑点灯し、バイブレータの断続的な振動が始まるまで、長めに（約１秒以上）押してください。
- 緊急通報中に通報停止ボタンを押しても、通報を停止することはできません。
- 異常通報、制御通報の通報中は、それらを中断して緊急通報を行います。緊急通報が終了すると、その他の通報を行います。

STOP お願い

- 通話中にワイヤレス子機の会話／モニタボタンを押したときは、こちらの声が一方的に相手に伝わります。無音の状態が続いたり緊急状態が正確に伝わらないときは、誤報やいたずらと判断され、通報を切断される可能性があります。状況が確実に伝わるようにはっきり発声するか、複数のワイヤレス子機を利用して、通報者以外が通報先と会話を行えるようにしてください。
- 万が一誤って通報を行ってしまった場合は、事情を説明して誤報であることを確実に伝え、電話を切ってもらってください（こちらから電話を切ることはできません）。
- ワイヤレス子機Ｍで通報を行うときは、必ず外部スピーカを接続してください。

Q&A

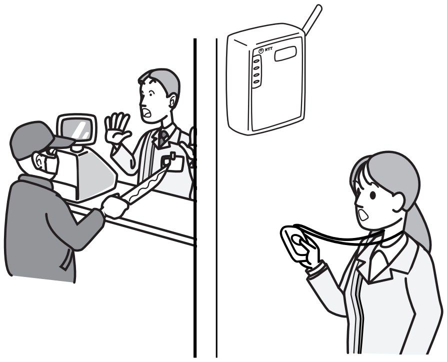
- ▶ *ワイヤレス子機で通話中に「プププ、プププ…」という音が聞こえたときは？（☛P66）*
- ▶ *ワイヤレス子機で通話中に「ピーッ」という音が聞こえたときは？（☛P66）*
- ▶ *ワイヤレス子機で通話中に、通報装置から「ピピピ、ピピピ…」という音が聞こえたときは？（☛P66）*
- ▶ *ワイヤレス子機で通話中に、通報装置から「ピーッ」という音が聞こえたときは？（☛P66）*
- ▶ *ワイヤレス子機が圏外となるのは？（☛P67）*
- ▶ *通話中のワイヤレス子機が圏外になったときは？（☛P67）*
- ▶ *通話中のワイヤレス子機の電池残量がなくなったときは？（☛P68）*
- ▶ *ワイヤレス子機を充電器に置いたままで通報するときは？（☛P68）*
- ▶ *使用中のワイヤレス子機を充電器に置いた／取りあげたときは？（☛P68）*
- ▶ *110番（警察通信指令室）が応答しないときは？（☛P69）*
- ▶ *ワイヤレス子機で通報／通話中に有線非常ボタン（市販品）を押したときは？（☛P69）*
- ▶ *ワイヤレス子機で通報／通話中に他のワイヤレス子機の非常ボタンを押したときは？（☛P69）*
- ▶ *有線非常ボタン（市販品）を押して通報中にワイヤレス子機の非常ボタンを押したときは？（☛P69）*

「非常通報」で通報して110番（警察通信指令室）と通話するには

あらかじめ警察から非常通報装置の設置許可を受けている場合は、次の方法で110番（警察通信指令室）へ通報することができます。通報後に110番（警察通信指令室）から電話がかかってきたら通話できます。

1 ワイヤレス子機の非常ボタンを約1秒以上押す。

※保護カバーを取り付けている場合は、保護カバーを押し破って非常ボタンを押してください。



- 通報したワイヤレス子機：会話ランプ緑点灯、バイブレータ断続的に振動
- その他のワイヤレス子機（接続ありの場合）：バイブレータ断続的に振動

2 通報装置が110番（警察通信指令室）へのダイヤルを開始する。

状態　通報したワイヤレス子機の番号

```
ツウホウ　コキ01-00
110
```

通報先

通報を受信したアンテナの番号
00　　　：通報装置内蔵のアンテナ
01～16：増設アンテナ01～16

- 通報装置：状態ランプ緑点滅、子機ランプ赤点灯

3 110番（警察通信指令室）が応答すると、通報装置が自動的に通報メッセージを流したあと、電話を切る。

```
メッセーシ゛ソウシュツ
110
```

- 通報装置：状態ランプ赤点灯

4 110番（警察通信指令室）から電話がかかってきて、ワイヤレス子機のバイブレータが連続的に振動する。

ワイヤレス子機を複数接続している場合は、すべてのワイヤレス子機のバイブレータが連続的に振動します。

```
キ゛ャクシン
```

- 通報装置：状態ランプ赤点滅

⑤ ワイヤレス子機の非常ボタンを約 1 秒以上押して（または会話／モニタボタンを押して）通話する。

レシーバを耳にあて、マイクに向かってお話しします。

```
ツウワチュウ　コキ01−00
```

- 通話中のワイヤレス子機：会話ランプ赤点灯、バイブレータ停止
- その他のワイヤレス子機（接続ありの場合）：バイブレータ断続的に振動

※110 番（警察通信指令室）が電話を切ると自動的に通話が終了します。（こちらから切ることはできません。）

ワンポイント

● **ワイヤレス子機 M を接続しているときは**
手順 5 でワイヤレス子機 M の非常ボタンを約 1 秒以上押すと、こちらの声のみ相手に送信できます。相手の声を聞く場合は、通報装置に外部スピーカを接続する必要があります。

● **一般宛先への通報が設定されていると**
110 番（警察通信指令室）側が通話を終了したあと、自動的に一般通報先へ通報が開始されます。

● **通話できない状況になったときは（☛P29）**

● **通報先に流す通報メッセージの内容は（☛P29）**

● **有線非常ボタン（市販品）から非常通報を行うときは**
通報装置に接続した有線非常ボタン（市販品）を押したあと、手順 2 〜 5 の操作を行います。
※110 番（警察通信指令室）から電話がかかってきたときに、EL-1 受理用電話機（オプション）のハンドセットを取りあげた場合は、EL-1 受理用電話機（オプション）で通話ができます。ワイヤレス子機のバイブレータは断続的に振動します。

お知らせ

●手順 1 で非常ボタンは、会話ランプが緑点灯し、バイブレータの断続的な振動が始まるまで、長めに（約 1 秒以上）押してください。
●非常通報中に通報停止ボタンを押しても、通報を停止することはできません。
●異常通報、制御通報の通報中は、それらを中断して非常通報を行います。非常通報が終了すると、その他の通報を行います。

（次ページに続く）

「非常通報」で通報して110番（警察通信指令室）と通話するには

お願い

●通話中にワイヤレス子機の会話／モニタボタンを押したときは、こちらの声が一方的に相手に伝わります。無音の状態が続いたり緊急状態が正確に伝わらないときは、誤報やいたずらと判断され、通報を切断される可能性があります。状況が確実に伝わるようにはっきり発声するか、複数のワイヤレス子機を利用して、通報者以外が通報先と会話を行えるようにしてください。
●万が一誤って通報を行ってしまった場合は、事情を説明して誤報であることを確実に伝え、電話を切ってもらってください（こちらから電話を切ることはできません）。
●ワイヤレス子機Mで通報を行うときは、必ず外部スピーカを接続してください。

Q&A

- *ワイヤレス子機で通話中に「プププ、ププ…」という音が聞こえたときは？（☛P66）*
- *ワイヤレス子機で通話中に「ピーッ」という音が聞こえたときは？（☛P66）*
- *ワイヤレス子機で通話中に、通報装置から「ピピピ、ピピピ…」という音が聞こえたときは？（☛P66）*
- *ワイヤレス子機で通話中に、通報装置から「ピーッ」という音が聞こえたときは？（☛P66）*
- *ワイヤレス子機が圏外となるのは？（☛P67）*
- *通話中のワイヤレス子機が圏外になったときは？（☛P67）*
- *通話中のワイヤレス子機の電池残量がなくなったときは？（☛P68）*
- *ワイヤレス子機を充電器に置いたままで通報するときは？（☛P68）*
- *使用中のワイヤレス子機を充電器に置いた／取りあげたときは？（☛P68）*
- *110番（警察通信指令室）が応答しないときは？（☛P69）*
- *ワイヤレス子機で通報／通話中に有線非常ボタン（市販品）を押したときは？（☛P69）*
- *ワイヤレス子機で通報／通話中に他のワイヤレス子機の非常ボタンを押したときは？（☛P69）*
- *有線非常ボタン（市販品）を押して通報中にワイヤレス子機の非常ボタンを押したときは？（☛P69）*

便利な機能のご紹介

通報装置は、ご利用状況や使い勝手に合わせて設定内容を変更することができます。設定項目の詳細は、付録の「システムデータ設定一覧」(☛P70)を参照してください。システムデータ設定の変更については、当社のサービス取扱所までご連絡ください(有料)。

■通報先の電話番号を登録する(通報先の登録)

通報先は最大8件まで登録できます。宛先ごとに、通報方式と通報メッセージの内容を設定することができます。通報方式は、メッセージを流したあと通話する/通話のみ/メッセージのみ、などから選択できます。お買い求め時は「メッセージを流したあと通話する」に設定されています。また、通報メッセージの内容は、用意されている各種音声メッセージ(合成音声)を最大3つ組み合わせて設定することができます。自分の声で録音することもできます。(☛P56)

■複数の一般通報先を登録した場合の通報終了タイミングを設定する(巡回終了条件設定)

複数の通報先を登録した場合に、それらのいずれかが応答した時点で通報を終了する「一宛先応答」か、すべての通報先が応答するまで通報を行う「全宛先応答」かのどちらかを選択できます。お買い求め時は「全宛先応答」に設定されています。(☛P56、57)

■電話回線を介さずに通報する(受理用電話機を呼び出す)

EL-1受理用電話機(オプション)を接続すると、ワイヤレス子機から呼び出して、通話をすることができます。子機通報設定の通報先指定を「受理用電話機を呼び出す」に設定し、受理用電話設定の受理用電話機接続有無を「接続あり」に設定します。(☛P56、60、72、80)

■通報完了したことを確認する(応答確認機能)

通報先の相手の方が電話を受けたときに、⑥㊉、⑨㊉、①#または㊉①#を押すことによって、通報装置に対して通報完了確認の信号を送ることができます(テレコントロール機能)。(☛P36)

■録音したメッセージで通報する

電話機を使って通報メッセージを録音しておくと、通報するときに録音したメッセージを流すことができます。(☛P57)

■電話がかかってきたときに自動的に応答する(自動応答)

電話がかかってきたときに、通報装置が自動的に応答することができます。自動的に応答するまでの時間は、即時応答/3秒後に応答/9秒後に応答/15秒後に応答/30秒後に応答/60秒後に応答、から選択することができます。お買い求め時は「自動応答しない」に設定されています。(☛P54)

※一般宛先通報で、通報終了後次の通報先へ通報を開始するまでの間に電話がかかってきたときは、「自動応答しない」に設定している場合以外は、即時応答します。

■日付・時刻を表示する(カレンダ機能)

現在の日時を通報装置のディスプレイに表示することができます。(☛P53)

■通報したワイヤレス子機確認機能

通報したワイヤレス子機の子機番号を確認することができます。(☛P26)

■通報履歴閲覧

通報した日時、通報の種類、通報の結果を履歴として残すことができます。(☛P76)履歴は最大100件まで保存されます。100件を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。停電または電源を切った場合でも、履歴情報は保存されています。

便利な機能のご紹介

■通報先の電話機や外出先の電話機から遠隔操作する（テレコントロール）

通報先の電話機や外出先の電話機から、通報装置を遠隔操作（テレコントロール）することができます。
テレコントロールは、操作内容に対応したダイヤルボタンを押して、プッシュ信号を送ることにより行います。

- テレコントロールが正しく行われると、「ピッ」という音が聞こえます。
- テレコントロールが正しく行われていないときは「ピッピッ」という音が聞こえますので、もう一度操作を行ってください。
- 通報共通設定（P92)の音声通報時の通話時間設定を「1 ： 30 秒」（お買い求め時の設定）に設定した場合は、通報先の電話機から ⑥ ㊡ を押すと通話時間を 30 秒から無制限に延長し、通報装置に対して通報完了確認の信号を送ります。

＜通報先の電話機からの操作＞

操作内容	ダイヤルボタン	システムデータの設定（○：設定が必要　－：設定不要）		
		通報共通設定（P92）		
		テレコントロール機能の有無を「1 ：動作する」に設定	音声通報時の通話時間設定を「1 ：30 秒」に設定	音声通報時の相手応答判定を「1 ：する」に設定
通話時間を 30 秒から無制限に延長し、通報を完了する（通話を継続し、他の通報先に通報する）	⑥ ㊡	○	○	－
通報完了として電話を切る（他の通報先には通報しない）	⑨ ㊡	－	－	－
通報メッセージを再生する	② ① ㊡	○	－	－
通報未完了として電話を切る（次の通報先を設定している場合は通報する）	③ ① ㊡	－	－	－
通報を完了する（通話を継続し、他の通報先に通報する）	① ㊯ または ㊡ ① ㊯	－	－	○
通報メッセージを停止して、通話に移行する	㊯	○	－	－
ワイヤレス子機のマイクをオフにし、外部マイク（オプション）をオンにする※1、2	① ⓪ ㊡	○	－	－

※1 通報共通設定（P92）（☛P79）の通話接続先設定を「0 ：子機マイク／子機レシーバ」（お買い求め時の設定）または「2 ：子機マイク／外部スピーカ」に設定し、外部マイク接続有無設定を「1 ：接続あり」に設定している場合に操作できます。

※2 もう一度 ① ⓪ ㊡ を押すと、ワイヤレス子機のマイクをオンにし、外部マイク（オプション）をオフにします。

ワンポイント

● **テレコントロールができる電話機は**

必ずプッシュ式（PB）またはプッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があれば、テレコントロールを行うことができます。

お願い

- テレコントロールにおけるダイヤルボタンはゆっくりと確実に押してください。
- メッセージが聞こえている間にダイヤルボタンを押す場合は、メッセージが確実に止まるように、少し長めに（目安として約２～３秒間）押してください（電話機によってはできない場合があります）。
- 携帯電話などでメッセージが聞こえている間にダイヤルボタンを押した場合は、正常に動作しないことがありますので、メッセージが終了してから操作してください。

■外出先からワイヤレス子機とEL-1受理用電話機を呼び出して通話する（自動応答後のテレコントロールによる呼び出し）

外出先から電話をかけて、通報装置が自動的に応答したあと暗証番号を入力し、ワイヤレス子機と受理用電話機を呼び出して通話することができます。

1 あらかじめ以下の設定を行う。

- 暗証番号設定1（☛P38）
- テレコントロール機能の有無（☛P38）
- 自動応答時間（☛P38）
- 受理用電話設定（P95）の受理用電話機接続有無を「1 ：接続あり」に設定する。（☛P80）

2 外出先の電話機から通報装置に電話をかける。

3 通報装置が自動応答し、「暗証番号を入力してください。」というガイダンスが流れるので、暗証番号と ＃ を押す。

4 以下の操作を行う。

●接続されているすべてのワイヤレス子機と受理用電話機を呼び出すときは、 7 0 ＊ を押します。
すべてのワイヤレス子機のバイブレータが連続振動し（充電中のワイヤレス子機は、モニタランプと会話ランプが赤く速い点滅）、受理用電話機の呼出音が鳴りますので、ワイヤレス子機の非常ボタンを約1秒以上押して（または会話／モニタボタンを押して）ワイヤレス子機で通話をするか、受理用電話機のハンドセットを取りあげて通話します。ワイヤレス子機または受理用電話機で応答してから約5秒間は、ワイヤレス子機からの通報はできません。

●ワイヤレス子機No.01～No.20を個別に呼び出す場合は 8 0 ＊ に続けて 0 1 ＃ ～ 2 0 ＃ を押します。
呼び出されたワイヤレス子機のバイブレータが連続振動（充電中のワイヤレス子機は、モニタランプと会話ランプが赤く速い点滅）しますので、ワイヤレス子機の非常ボタンを約1秒以上押して（または会話／モニタボタンを押して）通話をします。

●受理用電話機を個別に呼び出す場合は、 8 0 ＊ に続けて 9 9 ＃ を押します。
受理用電話機の呼出音が鳴りますので、受理用電話機のハンドセットを取りあげて通話します。

お知らせ

● ワイヤレス子機や受理用電話機との通話は約30秒で切れます。（お買い求め時の設定）通話時間を30秒から無制限に延長する場合は、ワイヤレス子機や受理用電話機との通話開始後 6 ＊ を押してください。

STOP お願い

● テレコントロール機能をご利用になるときは、本商品の外付TELコネクタに留守番機能付き電話機などを接続する場合でも、電話がかかってきたときに本商品が応答するように、本商品の自動応答の時間を留守番機能付き電話機などの自動応答時間よりも短く設定してください。（☛P54）
この場合、留守番機能付き電話機などの留守番機能は利用できません。

● 以下の場合は、110番、119番、118番などから緊急呼び返しを受けた場合でも、本商品が自動応答してしまう場合があります。
  - 本商品の外付TELコネクタに接続した電話機から110番、119番、118番などへ電話をかけたとき
  - ターミナルアダプタの電話機ポートに接続した電話機から110番、119番、118番などへ電話をかけたとき（EL-1W ISDN装置（オプション）とEL-1 STユニット（オプション）使用時）

（次ページに続く）

便利な機能のご紹介

＜外出先から通報装置に電話をかけたときの操作＞

操作内容	ダイヤルボタン	システムデータの設定（○：設定が必要　－：設定不要）		
		暗証番号設定 1（P73）	通報共通設定（P92）	自動応答時間（P91）
		暗証番号 1 を設定する	テレコントロール機能の有無を「1 ：動作する」に設定	「2 ：即時応答〜 7 ： 60 秒後に応答」のいずれかに設定
子機番号の小さいワイヤレス子機から順に呼び出す（ワイヤレス子機が自動応答したら通話できる）	⓪ ⓪ ㊀	○	○	○
ワイヤレス子機のマイクをオフにし、外部マイク（オプション）をオンにする※1、2、3	① ⓪ ㊀	○	○	○
接続されているすべてのワイヤレス子機（と受理用電話機）を呼び出す	⑦ ⓪ ㊀	○	○	○
ワイヤレス子機を個別に呼び出す	⑧ ⓪ ㊀ に続けて ⓪ ① ㊉ 〜 ② ⓪ ㊉	○	○	○
受理用電話機を個別に呼び出す	⑧ ⓪ ㊀ に続けて ⑨ ⑨ ㊉	○	○	○
通話時間を 30 秒から無制限に延長する※4、5	⑥ ㊀	○	○	○
電話を切る	⑨ ㊀	○	－	○

※ 1 ワイヤレス子機との通話開始後、操作できます。
※ 2 通報共通設定（P92）（☛P79）の通話接続先設定を「0 ：子機マイク／子機レシーバ」（お買い求め時の設定）または「2 ：子機マイク／外部スピーカ」に設定し、外部マイク接続有無設定を「1 ：接続あり」に設定している場合に操作できます。
※ 3 もう一度 ① ⓪ ㊀ を押すと、ワイヤレス子機のマイクをオンにし、外部マイク（オプション）をオフにします。
※ 4 通報共通設定（P92）（☛P79）の音声通報時の通話時間設定を「1 ： 30 秒」に設定している場合（お買い求め時の設定）に操作できます。
※ 5 ワイヤレス子機や受理用電話機との通話開始後、操作できます。

万全な点検のための便利な機能

万が一の非常通報や緊急通報を確実に行うために、本商品には、異常通報、制御通報の各種機能が用意されています。
各種機能をご利用になるには、あらかじめシステムデータの設定が必要です。「回線断線検出機能」以外の各機能を利用するためには専用のセンタ装置が必要です。また、あらかじめ設定が必要となりますので、当社のサービス取扱所までご連絡ください。（有料）

制御通報

定期点検などのために行う通報です。

■定時通報

ご利用の通報装置や電話回線に異常がないことを確認するために、あらかじめ設定した日時に、自動的に保守センタなどへの通報を行うことができます。
たとえば、毎週月曜日午前 10 時の定時通報を設定していた場合、その時刻に定時通報が行われなかったときには、通報装置や電話回線に異常が発生したことを保守センタなどで認識できます。

■電池交換時期通報

電池パックは、停電が発生しなかった場合でも、約 3 年ごとに交換する必要があります。電池交換時期の日時を設定すると、その日時になったときに自動的に保守センタなどへ通報が行われます。

異常通報

通報装置が異常を検出したときに通報します。

■筐体異常通報

本体カバーが開いてしまったときや、悪意を持った第三者が通報装置を操作しようとして本体カバーをこじ開けたときなどに、筐体異常として検知されるようにすることができます。本体カバーが開いたあと、約 20 秒以内に通報停止スイッチが押されないと、自動的に保守センタなどへの通報が行われます。
お買い求め時は、「しない」に設定されています。

■停電／復電通報

電池パックを取り付けると、停電が発生したときや、コンセントから電源プラグが外れたとき、またその状態から復旧したときに、保守センタなどへ通報が行われます。
お買い求め時は、「しない」に設定されています。

■電池容量劣化通報

電池パックの容量のチェックを実施し、容量が減って電池交換が必要なときには自動的に保守センタなどへ通報が行われます。
お買い求め時は、「しない」に設定されています。

■有線非常ボタン故障通報

有線非常ボタンの断線や故障などが発生したときに自動的に保守センタなどへ通報が行われます。
お買い求め時は、「しない」に設定されています。

万全な点検のための便利な機能

異常検出

■回線断線検出機能

電話機コードが抜けたり切れたりしたときには、異常の発生をお知らせします。お知らせする方法は、警報音およびディスプレイに「カイセン イジョウ」と表示してお知らせします。

お買い求め時は断線警報が「動作しない」に設定されていますので、警報音を鳴らさずに、ディスプレイ表示でお知らせします。

配線・設置・設定の手順

作業の流れ

EL-1W 通報装置を接続して、各種設定を行う作業の流れは次のとおりです。

接続する（☛P42）
通報装置と電話回線、ワイヤレス子機などを接続します。

⬇

電話回線の種別を設定する（☛P44）
ご利用になっている電話回線の種別に合わせて、通報装置の回線種別を設定します。

⬇

こちらの電話番号を登録する（☛P46）
こちらの電話番号を登録しておくと、通報先に通報メッセージを流す際に、電話番号を音声でお知らせすることができます。

⬇

通報先の電話番号を登録する（☛P47）
「通報宛先 1」に通報先の電話番号を登録します。通報先は「通報宛先 1」〜「通報宛先 8」まで最大 8 件登録できます。複数登録した場合は、通報したときに、通報先 1、2、3 が応答するまで自動的に通報が行われるようになります。（お買い求め時の設定）

⬇

通報できることを確認する（テスト通報）（☛P49）
あらかじめ登録したテスト通報宛先に、通報できることを確認します。 テスト通報宛先として登録した相手の方に、これから通報テストをすることをあらかじめ連絡しておいてください。

ワンポイント

● **電話機を利用して設定する方法**
通報装置にプッシュ式（PB）またはプッシュ信号を送ることのできる電話機を接続して、設定を行うことができます。登録・設定方法については、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。（有料）

● **パソコンを利用して設定する方法**
通報装置とパソコンを接続して、設定を行うことができます。登録・設定方法については、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。（有料）
通報装置とパソコンの接続には、付属品の RS-232C ケーブル（D-sub9 ピンストレートケーブル）を使用します。

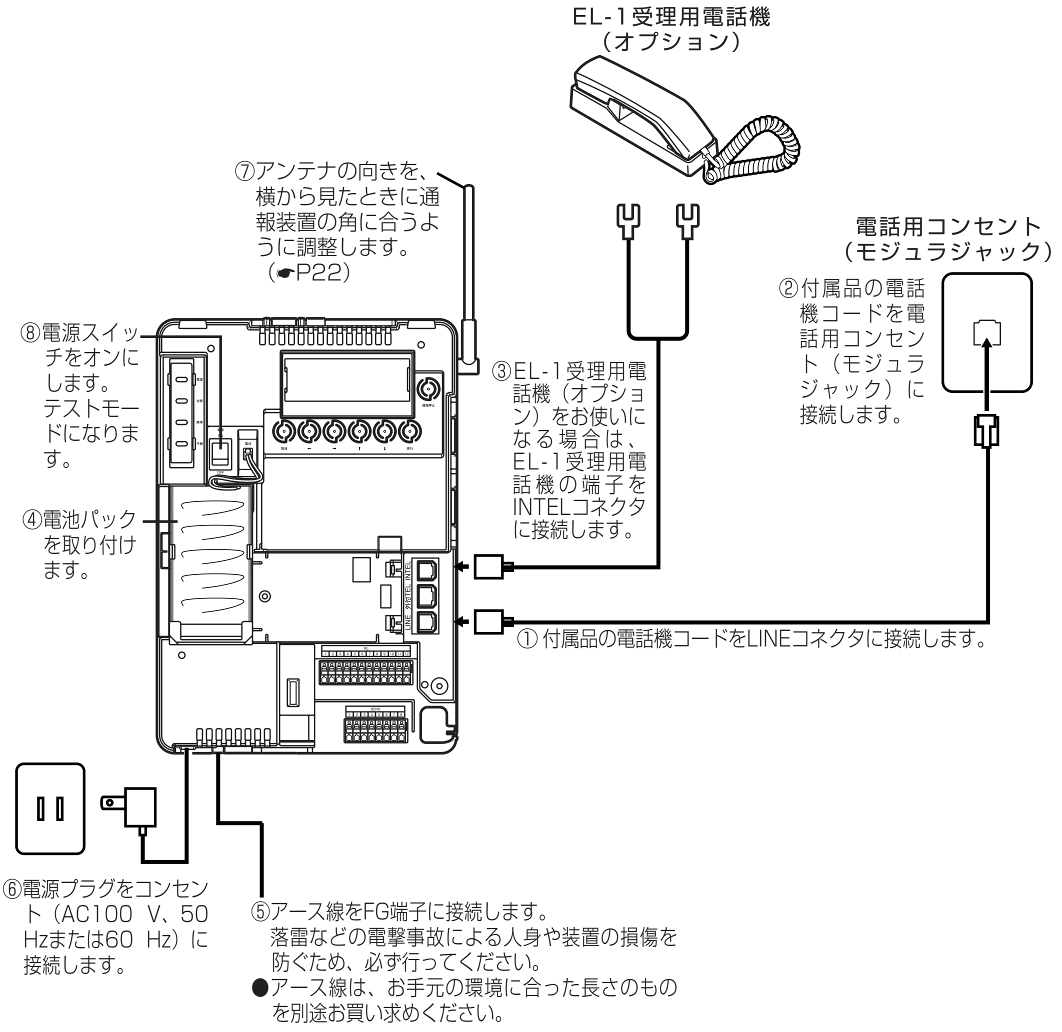
お知らせ

● 設定・登録内容は、メモにとるなどして保管してください。
● 各種設定後は、必ず関連するすべての機能が正常に動作することを確認してください。

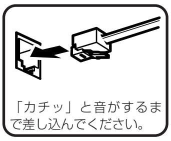
配線・設置・設定の手順

接続する

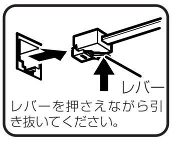
通報装置を電話回線に接続します。接続するときは、本体カバーを開けた状態で行います。下図の①〜⑧の順に接続してください。



●電話機コード等を差し込むとき



●電話機コード等を引き抜くとき



お知らせ

- ワイヤレス子機をご利用になるには、あらかじめ通報装置への子機登録を行う必要があります。当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。（有料）
- お買い求め時は、本体カバーを開くとテストモードになるように設定されています。

お願い

- 屋外にわたる配線は絶対に行わないでください。雷などによる故障の原因になります。
- 機器の接続に使用するコード類は、機器に付属のものを使うか、接続する機器に適合したものを使用してください。
- 本商品を接続する電話用コンセント（モジュラジャック）には本商品のみを接続し、他の電話機などをブランチ接続しないでください。

⚠警告

通報装置と同じ回線に、他の電話機やファクス、回線選択アダプタなどの電話装置をブランチ接続しないでください。通報が正常に行われない場合があります。

配線・設置・設定の手順

電話回線の種別を設定する

ご利用になっている電話回線の種別がわからない場合は、以下の操作を行って、通報装置の回線種別の自動設定を行います。電話回線の種別がわかっている場合は、「PB」（プッシュ回線）または「10PPS」／「20PPS」（ダイヤル回線）に設定します。

1 本体カバーを開く。

テストモードになります。

テストモード

2 ↓ボタン、↑ボタンを押して「メンテナンスモード」を選択する。

メンテナンスモード

3 実行ボタンを押す。

4 ↓ボタン、↑ボタンを押して「ジドウオウトウセッテイ　P90－P91」を選択する。

シ゛ト゛ウオウトウセッテイ
P90-P91

5 実行ボタンを押す。

6 ↓ボタン、↑ボタンを押して「カイセンシュベツセッテイ　P90」を選択する。

カイセンシュヘ゛ツセッテイ
P90

7 実行ボタンを押す。

0：PB
P90-001/004

8 ↓ボタン、↑ボタンを押して「3：AUTO」を選択する。

お買い求め時は「0：PB」に設定されています。

0：PB（プッシュ回線）

1：10PPS

2：20PPS

3：AUTO

3：AUTO
P90-004/004

回線種別がわかっている場合は、ここで選択します。

9 **実行ボタンを押す。**

10 **取消ボタンを繰り返し押す。**

テストモードに戻ります。

テストモードに戻すと、設定内容が本商品に保存されます。

テストモート゛

11 **「通話できることを確認する（テスト通報）」（☛P49）の操作を行うと、電話回線が自動設定される。**

※テスト通報以外の通報では、電話回線の種別が正しく設定されません。

ワンポイント

- **↓ボタン、↑ボタンを長押しすると**
  項目を10項目単位で送り／戻しすることができます。
- **EL-1W ISDN装置（オプション）を接続している場合は**
  電話回線の種別を「0 ： PB」に設定します。

お知らせ

- お買い求め時は、本体カバーを開くとテストモードになるように設定されています。通報の有無（P93）（☛P60、80）の筐体異常通報有無を「1 ：する」に変更した場合は、本体カバーを開き、20秒以内に通報停止ボタンを約2秒以上押すとテストモードになります。
- 回線種別の自動設定は、「PB」（プッシュ回線）と「20PPS」（ダイヤル回線）の識別を行い、電話回線の種別を自動設定します。「10PPS」（ダイヤル回線）の自動設定は行いません。
- 本体カバーを開くと、約20秒後に「キョウタイイジョウ」と表示されます。（お買い求め時の設定）

お願い

- 設定後は、取消ボタンを繰り返し押して、テストモードに戻してください。テストモードに戻す前に停電があり、電池パックによる動作ができなくなったときは、元の設定値に戻ります。

配線・設置・設定の手順

こちらの電話番号を登録する

こちらの電話番号を登録しておくと、通報先に通報メッセージを流す際に、電話番号を音声でお知らせせすることができます。

1. **本体カバーを開く。**
   テストモードになります。

   ```
   テストモード
   ```

2. **↓ボタン、↑ボタンを押して「メンテナンスモード」を選択する。**

   ```
   メンテナンスモード
   ```

3. **実行ボタンを押す。**

4. **↓ボタン、↑ボタンを押して「オンセイIDセッテイ　P72」を選択する。**

   ```
   オンセイIDセッテイ
                 P72
   ```

5. **実行ボタンを押す。**

   ```
   █・・・・・・・・・・・・・・・
                 P72
   ```

6. **こちらの電話番号を市外局番から入力する（最大32桁）。**
   ↓ボタン、↑ボタンを押して選択し、→ボタン、←ボタンを押してカーソルを移動します。

   ```
   031234111█・・・・・・
                 P72
   ```

   入力可能文字は、0～9、＊（スター）、#（シャープ）です。

7. **実行ボタンを押す。**

8. **取消ボタンを繰り返し押す。**
   テストモードに戻ります。
   テストモードに戻すと、設定内容が本商品に保存されます。

   ```
   テストモード
   ```

ワンポイント

- **↓ボタン、↑ボタンを長押しすると**
  項目を10項目単位で送り／戻しすることができます。

お知らせ

- お買い求め時は、本体カバーを開くとテストモードになるように設定されています。通報の有無（P93）（☛P60、80）の筐体異常通報有無を「1：する」に変更した場合は、本体カバーを開き、20秒以内に通報停止ボタンを約2秒以上押すとテストモードになります。
- 本体カバーを開くと、約20秒後に「キョウタイイジョウ」と表示されます。（お買い求め時の設定）

お願い

- 設定後は、取消ボタンを繰り返し押して、テストモードに戻してください。テストモードに戻す前に停電があり、電池パックによる動作ができなくなったときは、元の設定値に戻ります。

通報先の電話番号を登録する

通報する相手の電話番号を登録します。通報先は最大８件まで登録できます。お買い求め時は、通報先１、２、３が応答するまで通報するように設定されています。

1 本体カバーを開く。

テストモードになります。

テストモード

2 ↓ボタン、↑ボタンを押して「メンテナンスモード」を選択する。

メンテナンスモード

3 実行ボタンを押す。

4 ↓ボタン、↑ボタンを押して「ツウホウアテサキセッテイ　P01 - P10」を選択する。

ツウホウアテサキセッテイ
P01−P10

5 実行ボタンを押す。

ツウホウアテサキ1セッテイ
P01

6 実行ボタンを押す。

█・・・・・・・・・・・・・・・
P01−001／002

7 通報先の電話番号を市外局番から入力する（最大32桁）。

↓ボタン、↑ボタンを押して選択し、→ボタン、←ボタンを押してカーソルを移動します。

031234567█・・・・・・
P01−001／002

入力可能文字は、０～９、＊（スター）、#（シャープ）、－（ハイフン）、P（ポーズ）です。

8 実行ボタンを押す。

2002109
P01−002／002
①　②

①：通報方式

②：ガイダンス設定（流す通報メッセージの内容）

お買い求め時は、通報方式は「通報メッセージを流したあと通話する」、ガイダンス設定は「非常通報、非常通報、こちらは××です。」に設定されています。このままでよい場合は手順10へ進みます。

（次ページに続く）

配線・設置・設定の手順

9 通報方式とガイダンス設定を選択する。
(☛P70)

10 実行ボタンを押す。

```
ツウホウアテサキ2セッテイ
                    P02
```

複数の通報先を登録するときは、手順6～10を繰り返します。

11 取消ボタンを繰り返し押す。

テストモードに戻ります。

テストモードに戻すと、設定内容が本商品に保存されます。

```
テストモード
```

ワンポイント

● **↓ボタン、↑ボタンを長押しすると**
項目を10項目単位で送り／戻しすることができます。

● **通報メッセージの内容は**
お買い求め時は「非常通報、非常通報、こちらは××です。」に設定されています。「××」の部分では、「こちらの電話番号を登録する」（☛P46）で登録した電話番号が音声で流れます。

お知らせ

● お買い求め時は、本体カバーを開くとテストモードになるように設定されています。通報の有無（P93）（☛P60、80）の筐体異常通報有無を「1 ：する」に変更した場合は、本体カバーを開き、20秒以内に通報停止ボタンを約2秒以上押すとテストモードになります。
● 本体カバーを開くと、約20秒後に「キョウタイイジョウ」と表示されます。（お買い求め時の設定）

お願い

● 設定後は、取消ボタンを繰り返し押して、テストモードに戻してください。テストモードに戻す前に停電があり、電池パックによる動作ができなくなったときは、元の設定値に戻ります。
● 電話番号は必ず市外局番から入力してください。
● 携帯電話機やPHS対応電話機を通報先に登録した場合、携帯電話機やPHS対応電話機が電波の届かない場所にいるときや電源が入っていないときは、通信事業者の音声案内などが応答し、通報失敗となります。（お買い求め時の設定）
複数の通報先を巡回するように設定している場合は、次の宛先へ通報されます。
● 携帯電話機やPHS対応電話機を通報先に登録した場合は、通報共通設定（P92）（☛P79）の音声通報時の通話時間設定を「1 ： 30秒」に設定してください。お買い求め時は「1 ： 30秒」に設定されています。音声通報時の通話時間設定を「0 ：無制限」に設定した場合は、通報後、電話が切れないことがあります。

通報できることを確認する（テスト通報）

通報を確実に行うために、あらかじめ登録したテスト通報宛先へテスト通報を行って、通報できることを確認します。テスト通報先の方には、これからテスト通報を行うことを伝えてください。テスト通報は定期的に行うことが必要です。

※テスト通報を行うときは、ワイヤレス子機の保護カバーを取り外してから行ってください。

■ 電話回線を利用したテスト通報

1 あらかじめ通報宛先 1 にテスト通報先を登録する。（☛P70）

2 通報装置の本体カバーを開く。

テストモードになります。

```
テストモート゛
```

3 ワイヤレス子機の非常ボタンを約 1 秒以上押す。

- ワイヤレス子機：バイブレータ断続的に振動、会話ランプ緑点灯

4 通報装置がテスト通報宛先へのダイヤルを開始する。

```
テストツウホウ  コキ01－00
0312345678
```

テスト通報先

- 通報装置：状態ランプ緑点滅、子機ランプ赤点灯

5 テスト通報先が応答すると、通報装置が自動的に通報メッセージを流す。

```
メッセージ  ソウシュツ
0312345678
```

- 通報装置：状態ランプ赤点灯
- ワイヤレス子機：会話ランプ緑点灯、バイブレータ停止

6 ワイヤレス子機で通話できることを確認する。

レシーバを耳にあて、マイクに向かってお話しします。

- ワイヤレス子機：会話ランプ赤点灯

※相手の方が電話を切ると自動的に通話が終了します。（こちらから切ることはできません。）

※通報先が複数設定されている場合は、次の通報先へ通報を開始します。

お知らせ

●お買い求め時は、本体カバーを開くとテストモードになるように設定されています。通報の有無（P93）（☛P60、80）の筐体異常通報有無を「1 ：する」に変更した場合は、本体カバーを開き、20 秒以内に通報停止ボタンを約 2 秒以上押すとテストモードになります。

●本体カバーを開くと、約 20 秒後に「キョウタイイジョウ」と表示されます。（お買い求め時の設定）

配線・設置・設定の手順

■ 内線通話テスト

1. あらかじめEL-1受理用電話機（オプション）またはお手持ちの電話機（市販品）を電話機コードで通報装置のINTELコネクタに接続する。（☛P42）

2. 受理用電話設定（P95）の受理用電話機接続有無を「1：接続あり」に設定する。（☛P80）

3. 通報装置の本体カバーを開く。

   テストモードになります。

   ```
   テストモード
   ```

4. ↓ボタン、↑ボタンを押して「メンテナンスモード」を選択する。

   ```
   メンテナンスモード
   ```

5. 実行ボタンを押す。

   メンテナンスモードになります。

   ```
   ツウホウアテサキセッテイ
                P01-P10
   ```

6. ↓ボタン、↑ボタンを押して「ツウワカクニン　P67」を選択する。

   ```
   ツウワカクニン
                    P67
   ```

7. 実行ボタンを押す。

8. ワイヤレス子機の会話／モニタボタンを約4秒以上押す。

   ワイヤレス子機のモニタランプが赤点滅します。

9. ワイヤレス子機の非常ボタンを約1秒以上押す。

   ```
   ツウワカクニンチュウ
                    P67
   ```

   - EL-1受理用電話機：着信音が鳴る
   - 通報装置：子機ランプ赤点灯
   - ワイヤレス子機：会話ランプ緑点灯

10. EL-1受理用電話機のハンドセットを取りあげる。
    - EL-1受理用電話機：着信音が停止
    - ワイヤレス子機：会話ランプ赤点灯

11. ワイヤレス子機とEL-1受理用電話機で通話ができることを確認する。

12. EL-1受理用電話機のハンドセットを戻す。

    通話が終了します。

お知らせ

- お買い求め時は、本体カバーを開くとテストモードになるように設定されています。通報の有無（P93）（☛P60、80）の筐体異常通報有無を「1：する」に変更した場合は、本体カバーを開き、20秒以内に通報停止ボタンを約2秒以上押すとテストモードになります。
- 本体カバーを開くと、約20秒後に「キョウタイイジョウ」と表示されます。（お買い求め時の設定）

システムデータを設定するには

通報装置の本体カバーを開けた状態で、ボタンとディスプレイを使って各種機能の設定を行うことができます。システムデータの設定は、メンテナンスモードで行います。

システムデータ設定の手順

1 「システムデータ設定一覧」（☛P70）を参照して、設定番号と設定値を確認し、紙にメモする。

2 通報装置本体が待機状態であることを確認する。

3 本体カバーを開く。

テストモードになります。

```
テストモード
```

4 ↓ボタン、↑ボタンを押して「メンテナンスモード」を選択する。

```
メンテナンスモード
```

5 実行ボタンを押す。

メンテナンスモードになります。

```
ツウホウアテサキセッテイ
              P01-P10
```

6 メニューから項目を選択し、設定を行う。

メニュー選択で使用するボタンは次のとおりです。

↑↓ボタン：メニューを選択します。

実行ボタン：項目を選択します。

取消ボタン：前の画面に戻ります。

7 ↑ボタン、↓ボタンで設定値を選択し、実行ボタンを押す。

8 取消ボタンを繰り返し押す。

テストモードに戻ります。

テストモードに戻すと、設定内容が本商品に保存されます。

```
テストモード
```

STOP お願い

● 設定後は、取消ボタンを繰り返し押して、テストモードに戻してください。テストモードに戻す前に停電があり、電池パックによる動作ができなくなったときは、元の設定値に戻ります。

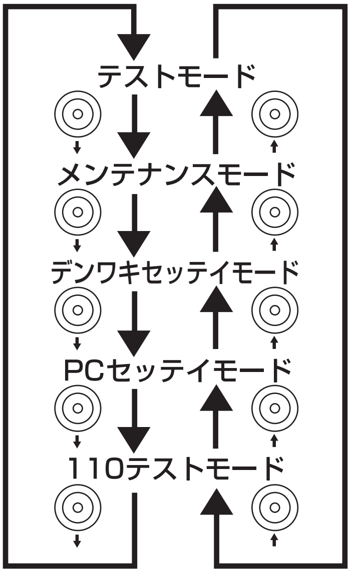
（次ページに続く）

システムデータを設定するには

ワンポイント

● **↓ボタン、↑ボタンを長押しすると**
項目を 10 項目単位で送り／戻しすることができます。

● **モードを選択するには**
手順４で↓ボタン、↑ボタンを押すことによって、モードを選択することができます。



お知らせ

●通報の有無（P93）（☛P60、80）の筐体異常通報有無が「0 ：しない」に設定されている場合は、本体カバーを開くとテストモードになります。お買い求め時は「0 ：しない」に設定されています。
●通報の有無（P93）の筐体異常通報有無が「1 ：する」に設定されている場合は、本体カバーを開き、20 秒以内に通報停止ボタンを約 2 秒以上押すとテストモードになります。
●本体カバーを開くと、約 20 秒後に「キョウタイイジョウ」と表示されます。（お買い求め時の設定）

日付と時刻を合わせる

1 **本体カバーを開く。**
テストモードになります。

```
テストモード
```

2 **↓ボタン、↑ボタンを押して「メンテナンスモード」を選択する。**

```
メンテナンスモード
```

3 **実行ボタンを押す。**

4 **↓ボタン、↑ボタンを押して「カレンダニュウリョク　P79」を選択する。**

```
カレンダ ニュウリョク
                  P79
```

5 **実行ボタンを押す。**

```
0401010000
                  P79
```

ワンポイント

● **↓ボタン、↑ボタンを長押しすると**
項目を 10 項目単位で送り／戻しすることができます。

6 **年（西暦下 2 桁）、月（01 〜 12）、日（01 〜 31）、時刻（0000 〜 2359）を入力する。**

↑↓ボタンを押して数値を選択します。

→ボタンを押して、右へカーソルを移動します。

数値を変更するときは、←ボタン、→ボタンを押してカーソルを移動し、↑ボタン、↓ボタンを押して数値を選択します。

＜例＞2005 年 2 月 19 日 00 時 00 分の場合

0502190000 と入力します。

```
0502190000
                  P79
```

7 **実行ボタンを押す。**

8 **取消ボタンを繰り返し押す。**
テストモードに戻ります。

```
テストモード
```

お知らせ

● お買い求め時は、本体カバーを開くとテストモードになるように設定されています。通報の有無（P93）（☛P60、80）の筐体異常通報有無を「1 ：する」に変更した場合は、本体カバーを開き、20 秒以内に通報停止ボタンを約 2 秒以上押すとテストモードになります。
● 時刻表示は、あくまで目安としてご利用ください。誤差が生じたときは設定をやり直してください。（時間精度：平均月差± 90 秒）
● 本体カバーを開くと、約 20 秒後に「キョウタイイジョウ」と表示されます。（お買い求め時の設定）

システムデータを設定するには

自動応答の時間を設定する

電話がかかってきたときに自動的に応答するかどうかを設定し、自動応答するまでの時間を設定します。

1. 本体カバーを開く。
   テストモードになります。

テストモード゛

2. ↓ボタン、↑ボタンを押して「メンテナンスモード」を選択する。

メンテナンスモード゛

3. 実行ボタンを押す。

4. ↓ボタン、↑ボタンを押して「ジドウオウトウセッテイ　P90 − P91」を選択する。

シ゛ ト゛ ウオウトウセッテイ
P90−P91

5. 実行ボタンを押す。

6. ↓ボタン、↑ボタンを押して「ジドウオウトウジカン　P91」を選択する。

シ゛ ト゛ ウオウトウシ゛ カン
P91

7. 実行ボタンを押す。

1：オウトウシナイ
P91−001/007

8. ↓ボタン、↑ボタンを押して項目を選択する。
   お買い求め時は「1 ：オウトウシナイ」に設定されています。
   1 ：オウトウシナイ（自動応答しない）
   2 ：ソクジオウトウ（即時応答）
   3 ：３ビョウ（3 秒後に応答）
   4 ：９ビョウ（9 秒後に応答）
   5 ：15 ビョウ（15 秒後に応答）
   6 ：30 ビョウ（30 秒後に応答）
   7 ：60 ビョウ（60 秒後に応答）

2：ソクシ゛ オウトウ
P91−002/007

9 **実行ボタンを押す。**

10 **取消ボタンを繰り返し押す。**

テストモードに戻ります。

テストモードに戻すと、設定内容が本商品に保存されます。

テストモード

ワンポイント

- **↓ボタン、↑ボタンを長押しすると**
  項目を10項目単位で送り／戻しすることができます。

お知らせ

- お買い求め時は、本体カバーを開くとテストモードになるように設定されています。通報の有無（P93）（☛P60、80）の筐体異常通報有無を「1：する」に変更した場合は、本体カバーを開き、20秒以内に通報停止ボタンを約2秒以上押すとテストモードになります。
- 本体カバーを開くと、約20秒後に「キョウタイイジョウ」と表示されます。（お買い求め時の設定）

お願い

- 設定後は、取消ボタンを繰り返し押して、テストモードに戻してください。テストモードに戻す前に停電があり、電池パックによる動作ができなくなったときは、元の設定値に戻ります。
- テレコントロール機能（☛P36）をご利用になるときは、本商品の外付TELコネクタに留守番機能付き電話機などを接続する場合でも、電話がかかってきたときに本商品が応答するように、本商品の自動応答の時間を留守番機能付き電話機などの自動応答時間よりも短く設定してください。
  この場合、留守番機能付き電話機などの留守番機能は利用できません。

システムデータを設定するには

システムデータ項目一覧表

●通報先の登録

設定番号	項目		お買い求め時の設定	参照ページ
P01～P08	通報宛先1設定～通報宛先8設定	通報宛先番号設定	未設定	☛P70
		通報方式	2：音声通報5	
		ガイダンス設定	002109：「非常通報、非常通報、こちらは××です。」	
P09	テスト通報宛先設定		未設定	☛P71
P10	通報宛先0設定	通報宛先番号設定	110	☛P71
		通報設定	1：音声通報2（110緊急）	
		通報方式	0：非常通報（合成音声＋録音音声）	
		通話時間設定	0：無制限	

●センサの設定

設定番号	項目		お買い求め時の設定	参照ページ
P20	センサ設定		0000（センサ接続なし） ※左からセンサ1～4に対応	☛P71
P21～P24	センサ1通報設定～センサ4通報設定	通報先指定	123：通報宛先123	☛P71、72
		巡回回数設定	1：3回	
		巡回終了条件設定	0：全宛先応答	
		センサ連動設定	1200（ランプ1制御、ランプ2制御）	

●ワイヤレス子機の設定

設定番号	項目		お買い求め時の設定	参照ページ
P25	子機グループ設定	子機1～10	1111100000（子機番号1～5がグループ1）	☛P72
		子機11～20	0000000000（すべてグループなし）	
P26～P29	子機グループ1通報設定～子機グループ4通報設定	通報先指定	123：通報宛先123	☛P72
		巡回回数設定	1：3回	
		巡回終了条件設定	0：全宛先応答	
		センサ連動設定	1200（ランプ1制御、ランプ2制御）	

●制御通報の設定

設定番号	項　目		お買い求め時の設定	参照ページ
P30	定時通報設定	通報動作有無設定	0 ：しない	☛P73
		通報先指定	未設定	
		巡回回数設定	1 ：3 回	
		巡回終了条件設定	0 ：全宛先応答	
		定時通報周期時間	010000（各月の 1 日 0 時 0 分に通報を行う）	
P36	BATT 交換通報設定	通報動作有無設定	0 ：しない	☛P73
		通報先指定	未設定	
		巡回回数設定	1 ：3 回	
		巡回終了条件設定	0 ：全宛先応答	
		電池交換時期日時指定	0101010000（2001 年 1 月 1 日 00 時 00 分）	

●通報失敗履歴通報、異常通報の設定

設定番号	項　目		お買い求め時の設定	参照ページ
P37	通報失敗履歴通報	通報先指定	未設定	☛P74
		巡回回数設定	1 ：3 回	
		巡回終了条件設定	0 ：全宛先応答	
P38	異常通報設定	通報先指定	未設定	☛P74
		巡回回数設定	1 ：3 回	
		巡回終了条件設定	0 ：全宛先応答	
		接点連動設定	0000（連動しない）	

●録音メッセージの設定

設定番号	項　目		お買い求め時の設定	参照ページ
P40 ～ P49	録音メッセージ操作 0 ～ 9	録音メッセージ録音	録音なし	☛P75
		録音メッセージ再生	（録音メッセージ 0 ～ 9 を再生する）	
		録音メッセージ消去	0 ：しない（確認画面にて、消去する／しないを選択する）	

システムデータを設定するには

●履歴の設定

設定番号	項　目	お買い求め時の設定	参照ページ
P60	通報履歴表示	（最新の通報履歴を表示する）	☛P76
P61	システム履歴表示	（最新のシステム履歴を表示する）	☛P76
P62	失敗履歴通報起動	0：通報しない	☛P76
P63	入力確認	0：確認しない	☛P76

●ワイヤレス子機の登録

設定番号	項　目	お買い求め時の設定	参照ページ
P64	親機SO解除	未設定	☛P76
P65	接点確認	（接点出力を確認する）	☛P76
P66	子機SO登録	未設定	☛P76
P67	通話確認	（ワイヤレス子機と受理用電話機で通話する）	☛P76
P68	子機番号確認	（登録されているワイヤレス子機の番号を確認する）	☛P77

● CSパラメータ項目の設定

設定番号	項　目	お買い求め時の設定	参照ページ
P69	CSパラメータ	①28　②24　③23　④24 ⑤23　⑥036　⑦23 ⑧036	☛P77

●通報失敗履歴の消去

設定番号	項　目	お買い求め時の設定	参照ページ
P70	失敗履歴消去	0：しない（確認画面にて、消去する／しないを選択する）	☛P77

●こちらの電話番号、リモートメンテナンス時の暗証番号の設定

設定番号	項　目	お買い求め時の設定	参照ページ
P71	端末ID設定	未設定	☛P77
P72	音声ID設定	未設定	☛P78
P73	暗証番号設定1	未設定	☛P78
P74	暗証番号設定2	未設定	☛P78

●ディスプレイ表示の設定

設定番号	項　目	お買い求め時の設定	参照ページ
P78	LCD 濃度調整	3 段階中 2 段階目　2：標準	☛P78
P79	カレンダ入力	0401010000（2004 年 1 月 1 日 00 時 00 分）	☛P78

●回線種別、自動応答時間の設定

設定番号	項　目	お買い求め時の設定	参照ページ
P90	回線種別設定	0：PB	☛P79
P91	自動応答時間	1：自動応答しない	☛P79

●その他

設定番号	項　目		お買い求め時の設定	参照ページ
P75	増設 CS 接続確認		（接続されている増設 CS アンテナを表示する）	☛P78
P76	非常通報モード	応答後ガイダンス送出待ち時間設定	1：10 秒	☛P78
		音声検出確定時間設定	0：約 250ms	
		逆信待ち時間設定	05：5 秒	
P87	送受話 PAD 設定	送話 PAD 受話 PAD	1：標準 1：標準	☛P78
P92	通報共通設定	音声通報時の相手応答判定	0：しない	☛P79
		音声通報時のメッセージ送出回数設定	0：2 回	
		通報完了条件設定	0：通報正常終了	
		音声通報時の通話時間設定	1：30 秒	
		テレコントロール機能の有無	1：動作する	
		通話接続先設定	0：子機マイク／子機レシーバ	
		外部マイク接続有無設定	0：接続なし	

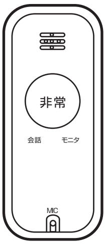
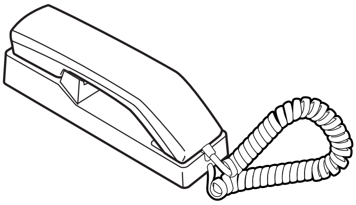
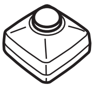
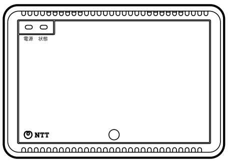
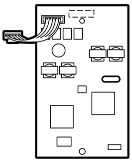
（次ページに続く）

システムデータを設定するには

設定番号	項　目		お買い求め時の設定	参照ページ
P93	通報の有無	筐体異常通報有無	0：しない	☛P80
		有線非常ボタン故障通報有無	0：しない	
		電池容量劣化通報有無	0：しない	
		停電／復電通報有無	0：しない	
P94	電池異常検出		0：検出しない	☛P80
P95	受理用電話設定	受理用電話機接続有無	0：接続なし	☛P80
		呼出音設定	1：呼出音あり	
P96	RS232C 接続設定		0：なし	☛P80
P97	断線警報		0：動作しない	☛P80
P98	第2トーキー設定		00：固定ガイダンス	☛P80
P99	システムデータ初期化		0：しない（確認画面にて、初期化する／しないを選択する）	☛P80

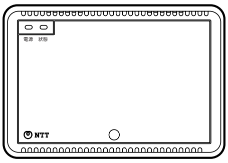
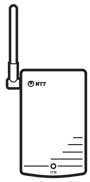
オプションをご利用になるには

通報装置には、より便利にお使いいただくための各種オプションが用意されています。

EL-1W ワイヤレス子機／EL-1W ワイヤレス子機 M 	＜ EL-1W ワイヤレス子機＞ 一般宛先通報などを行い、通話することができます。最大 20 台接続できます。 ※EL-1W ワイヤレス子機について詳しくは「EL-1W ワイヤレス子機取扱説明書」を参照してください。 ＜ EL-1W ワイヤレス子機 M ＞ 一般宛先通報などを行うことができます。通話をすることはできません。（送話のみ） ※詳しくは「EL-1W ワイヤレス子機 M 取扱説明書」を参照してください。
EL-1 受理用電話機 	一般宛先通報などを行い、通話することができます。壁に取り付けることができ、1 台のみ接続できます。
EL-1 発報確認ランプ 	通報装置が通報の発信中、通報中、通話中、および通報先から電話がかかってきていることを、緑と赤のランプを点灯させてお知らせします。壁に取り付け、最大 4 台接続できます。
EL-1W ISDN 装置 	INS ネット 64 回線をご使用になる場合に必要となります。
EL-1 ST ユニット 	INS ネット 64 回線をご使用になる場合、お手持ちの電話機を接続するときに必要となります。 EL-1W ISDN 装置に取り付け、EL-1W ISDN 装置に接続したターミナルアダプタにお手持ちの電話機を接続します。

（次ページに続く）

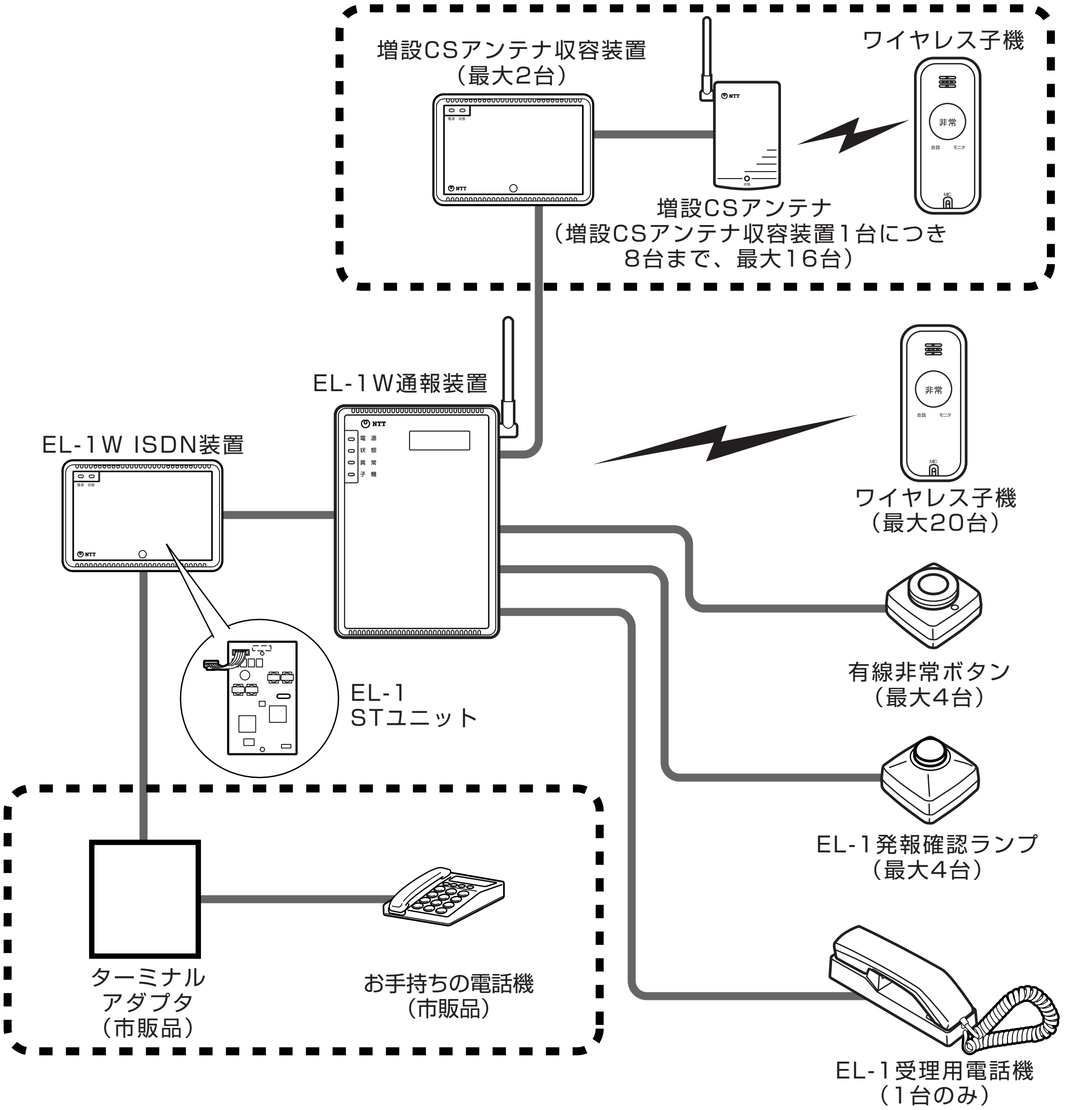
オプションをご利用になるには

EL-1W 増設 CS アンテナ収容装置 	CS アンテナを増設する場合に、本商品に接続します。最大 2 台接続できます。
EL-1W 増設 CS アンテナ 	増設 CS アンテナ収容装置に接続します。増設 CS アンテナ収容装置 1 台に最大 8 台接続できます。

その他、市販品としては以下の物品などを接続することができます。詳しくは当社のサービス取扱所までお問い合わせください。

- **有線非常ボタン**：ボタンを押すことで通報できます。最大 4 台接続できます。
- **発報用ブザー**：通報が発生したときに、ブザーを鳴らして周囲に緊急事態を知らせることができます。
- **回転灯**：通報が発生したときに、光で周囲に緊急事態を知らせることができます。
- **外部スピーカ**：通報が発生したときに、通報先からの音声を聞くことができます。
- **外部マイク**：通報先にこちらの声を送信することができます。

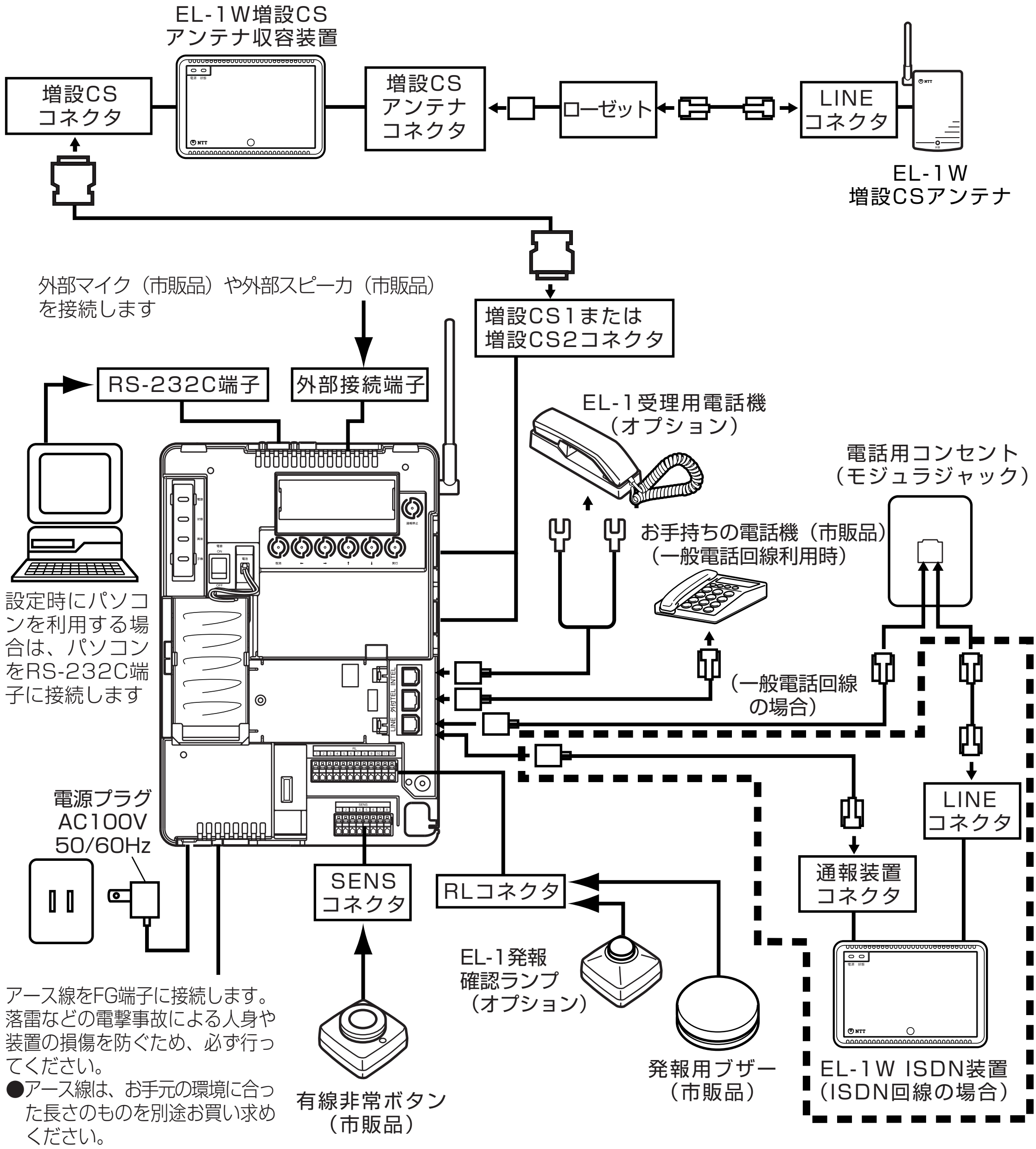
■構成図



増設CSアンテナ収容装置
（最大2台）
ワイヤレス子機
増設CSアンテナ
（増設CSアンテナ収容装置1台につき
8台まで、最大16台）
EL-1W通報装置
EL-1W ISDN装置
ワイヤレス子機
（最大20台）
EL-1
STユニット
有線非常ボタン
（最大4台）
EL-1発報確認ランプ
（最大4台）
ターミナル
アダプタ
（市販品）
お手持ちの電話機
（市販品）
EL-1受理用電話機
（1台のみ）

配線のしかた

下の図を参照して、通報装置と別売品などを接続（配線）してください。



※有線非常ボタン（市販品）、EL-1 発報確認ランプ（オプション）、発報用ブザー（市販品）の接続については、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。

※一般電話回線をご利用の場合に、お手持ちの電話機をお使いになるときは、電話機コードを外付 TEL コネクタに接続します。

※EL-1 発報確認ランプ（オプション）や発報用ブザー（市販品）などをお使いになる場合は RL コネクタに接続します。

有線非常ボタン（市販品）をお使いになる場合は SENS コネクタに接続します。

外部マイク（市販品）や外部スピーカ（市販品）をお使いになる場合は外部接続端子に接続します。

設定時にパソコンを利用する場合は、パソコンを RS-232C 端子に接続します。

ワンポイント

● 本商品の外付 TEL コネクタに接続した電話機でお話し中に通報を行ったときは
「通報のため電話を切ります。通報のため電話を切ります。」という切断メッセージが本商品の外付 TEL コネクタに接続した電話機とお話し中の相手の両方に流れ、通話が切れます。このあとに本商品が通報を行います。通報中は本商品の外付 TEL コネクタに接続した電話機は使用できなくなります。

● 電話がかかってきているときに通報を行ったときは
かかってきた電話に本商品が応答し、「通報のため電話を切ります。通報のため電話を切ります。」という切断メッセージが電話をかけてきた相手の方に流れ、通話が切れます。このあとに本商品が通報を行います。通報中は本商品の外付 TEL コネクタに接続した電話機は使用できなくなります。

● EL-1W ISDN 装置の使用時にお手持ちの電話機（市販品）を接続するには
EL-1W ISDN 装置に EL-1 ST ユニット（オプション）を取り付け、ターミナルアダプタ（市販品）を EL-1W ISDN 装置の S/T コネクタに接続してください。お手持ちの電話機は、ターミナルアダプタの電話機ポートに接続します。

● ターミナルアダプタの電話機ポートに接続した電話機でお話し中に通報を行ったときは（EL-1W ISDN 装置と EL-1 ST ユニット使用時）
通話が切れます。このあとに本商品が通報を行います。通報中はターミナルアダプタの電話機ポートに接続した電話機は使用できなくなります。

● 電話がかかってきているときに通報を行ったときは（EL-1W ISDN 装置と EL-1 ST ユニット使用時）
かかってきた電話に本商品が応答し、「通報のため電話を切ります。通報のため電話を切ります。」という切断メッセージが電話をかけてきた相手の方に流れ、通話が切れます。このあとに本商品が通報を行います。通報中はターミナルアダプタの電話機ポートに接続した電話機は使用できなくなります。

STOP お願い

- テレコントロール機能（☛P36）をご利用になるときは、本商品の外付 TEL コネクタに留守番機能付き電話機などを接続する場合でも、電話がかかってきたときに本商品が応答するように、本商品の自動応答の時間を留守番機能付き電話機などの自動応答時間よりも短く設定してください。（☛P54）
  この場合、留守番機能付き電話機などの留守番機能は利用できません。
- 本商品には強制切断機能（優先通報機能）※があります。本商品の強制切断機能が動作することによって支障を来す恐れのある装置は、外付 TEL コネクタに接続できません。（一般電話回線利用時）
  ※強制切断機能（優先通報機能）
  外付 TEL コネクタに接続した装置を使用中に通報（一般宛先通報／緊急通報／非常通報）を行った場合、外付 TEL コネクタに接続した装置を回線から切り離す機能です。
- EL-1 ST ユニットには強制切断機能（優先通報機能）※があります。強制切断機能が動作することによって支障を来す恐れのある装置は、EL-1W ISDN 装置の S/T コネクタに接続できません。
  ※強制切断機能（優先通報機能）
  EL-1W ISDN 装置の S/T コネクタに接続した装置を使用中に通報（一般宛先通報／緊急通報／非常通報）を行った場合、EL-1W ISDN 装置の S/T コネクタに接続した装置を回線から切り離す機能です。
- EL-1W ISDN 装置を接続しているときは、本商品の外付 TEL コネクタにお手持ちの電話機を接続しないでください。
- 屋外に渡る配線は絶対に行わないでください。雷などによる故障の原因になります。
- 機器の接続に使用するコード類は、機器に付属のものを使うか、接続する機器に適合したものを使用してください。
- 本商品を接続する電話用コンセント（モジュラジャック）には本商品のみを接続し、他の電話機などをブランチ接続しないでください。

⚠ 警告	**通報装置と同じ回線に、他の電話機やファクス、回線選択アダプタなどの電話装置をブランチ接続しないでください。通報が正常に行われない場合があります。**

Q&A

「こんなときはどうする？」といった場合の対処方法や操作上の注意点などを、テーマ別に質問形式でまとめています。

音

Q ワイヤレス子機で通話中に「プププ、プププ…」という音が聞こえたときは？

A ワイヤレス子機が圏外付近および圏外にいます。「プププ、プププ…」という音（圏外警報音）が聞こえたら、通報装置に近づいてください。約10秒以内に近づかないと通話が切れてしまいます。周囲の環境によっては、10秒以内に通話が切れる場合もあります。

- ワイヤレス子機Mでは、「プププ、プププ…」という音（圏外警報音）は聞こえません。
- 増設アンテナを設置しているときは、増設アンテナに切り替わるときなどに、通話中のワイヤレス子機で「プププ、プププ…」という音が聞こえます。「プププ、プププ…」という音が聞こえたら、通報装置または増設アンテナに近づいてください。

Q ワイヤレス子機で通話中に「ピーッ」という音が聞こえたときは？

A 電池残量がなくなりました。「ピーッ」という音が約4秒間鳴り、約1分後に通話が切れてしまいます。

- ワイヤレス子機Mでは、「ピーッ」という音は聞こえません。

Q ワイヤレス子機で通話中に、通報装置から「ピピピ、ピピピ…」という音が聞こえたときは？

A 通話中のワイヤレス子機が圏外付近にあります。

Q ワイヤレス子機で通話中に、通報装置から「ピーッ」という音が聞こえたときは？

A 通話中のワイヤレス子機の電池残量がなくなりました。

圏外

Q ワイヤレス子機が圏外となるのは？

A ワイヤレス子機から通報装置本体への電波が届く範囲は、見通し距離で 50 m程度です。電波の届かないところ（圏外）ではワイヤレス子機が使えません。あらかじめ圏外にならない範囲を確認してお使いください。

- 通話中のワイヤレス子機が圏外付近および圏外になると、「プププ、プププ…」という音（圏外警報音）が聞こえます。
- 通話中のワイヤレス子機が圏外付近になると、会話ランプが赤く遅い点滅をします。
- ワイヤレス子機が圏外になると、会話ランプが赤く点滅をします。
- ワイヤレス子機 M では、「プププ、プププ…」という音（圏外警報音）は聞こえません。
- 送話中のワイヤレス子機 M が圏外付近になると、通報ランプが赤く遅い点滅をします。
- ワイヤレス子機 M が圏外になると、通報ランプが赤く点滅をします。
- 増設アンテナを設置しているときは、ワイヤレス子機から増設アンテナへ電波が届く範囲は見通し距離で約 50 m です。

Q 通話中のワイヤレス子機が圏外になったときは？

A 圏外のまま約 10 秒以上経過した場合は、通話が切れてしまいます。その他のワイヤレス子機のバイブレータは停止します。

＜緊急通報／非常通報を行っていたとき＞

- 通報装置は他のワイヤレス子機が圏内にあることを確認後、110 番（警察通信指令室）へのダイヤルを開始し、圏内にあるワイヤレス子機のバイブレータが断続的に振動します。通報先が応答すると、ワイヤレス子機（圏内にあり、電池残量が残っているワイヤレス子機のうち、通報装置にもっとも若い番号で登録されているもの）で通話ができるようになります。その他のワイヤレス子機のバイブレータは断続的に振動します。
- 通話が切れたあと、約 15 秒以内に 110 番（警察通信指令室）から電話（逆信）がかかってきたとき
  他のワイヤレス子機で通話できます。『「非常通報」で通報して 110 番（警察通信指令室）と通話するには』の手順４～５を参照してください。（☛P32）

＜一般宛先通報を行っていたとき＞

通話が切れたあと、通報装置は次の通報先へのダイヤルを開始し、通報先が応答すると、ワイヤレス子機（圏内にあり、電池残量が残っているワイヤレス子機のうち、通報装置にもっとも若い番号で登録されているもの）で通話ができるようになります。その他のワイヤレス子機のバイブレータは断続的に振動します。

Q&A

電池残量

Q　通話中のワイヤレス子機の電池残量がなくなったときは？

A　そのままの状態を約１分以上続けると、そのワイヤレス子機は動作しなくなり、通話が切れてしまいます。その他のワイヤレス子機のバイブレータは停止します。

<緊急通報／非常通報を行っていたとき>

- 通報装置は他のワイヤレス子機が圏内にあることを確認後、110番（警察通信指令室）へのダイヤルを開始し、圏内にあるワイヤレス子機のバイブレータが断続的に振動します。通報先が応答すると、ワイヤレス子機（圏内にあり、電池残量が残っているワイヤレス子機のうち、通報装置にもっとも若い番号で登録されているもの）で通話ができるようになります。その他のワイヤレス子機のバイブレータは断続的に振動します。
- 通話が切れたあと、約15秒以内に110番（警察通信指令室）から電話（逆信）がかかってきたとき
  他のワイヤレス子機で通話できます。
  『「非常通報」で通報して110番（警察通信指令室）と通話するには』の手順４～５を参照してください。（☛P32）

<一般宛先通報を行っていたとき>

通話が切れたあと、通報装置は次の通報先へのダイヤルを開始し、通報先が応答すると、ワイヤレス子機（圏内にあり、電池残量が残っているワイヤレス子機のうち、通報装置にもっとも若い番号で登録されているもの）で通話ができるようになります。その他のワイヤレス子機のバイブレータは断続的に振動します。

充電

Q　ワイヤレス子機を充電器に置いたままで通報するときは？

A　ワイヤレス子機を充電器に置いているときでも通報／通話ができます。充電器に置いたままの状態で、ワイヤレス子機の非常ボタンを約１秒以上押してください。充電器に置いているときは、ワイヤレス子機のバイブレータは振動しません。その他の動作は手に持って使用しているときと同様です。

Q　使用中のワイヤレス子機を充電器に置いた／取りあげたときは？

A　通報／通話の途中で充電器に置いたり、充電器から取りあげたりしても、そのまま通報／通話を続けることができます。

通報

Q ***ワイヤレス子機で通報／通話中に有線非常ボタン（市販品）を押したときは？***

A **<一般宛先通報のとき>**
ワイヤレス子機の通報が終わったあと、「有線非常ボタン（市販品）から通報を行うときは」（☛P29）の動作をします。
<緊急通報のとき>
有線非常ボタン（市販品）を押す操作は無効です。
<非常通報のとき>
有線非常ボタン（市販品）を押す操作は無効です。
※詳しくは、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。

Q ***ワイヤレス子機で通報／通話中に他のワイヤレス子機の非常ボタンを押したときは？***

A **非常ボタンを押す操作は無効です。**
通報／通話中のワイヤレス子機以外の他のワイヤレス子機では、バイブレータが断続的に振動しています。バイブレータが断続的に振動している他のワイヤレス子機で非常ボタンを押しても、その操作は受け付けられません。
※詳しくは、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。

Q ***有線非常ボタン（市販品）を押して通報中にワイヤレス子機の非常ボタンを押したときは？***

A **非常ボタンを押す操作は無効です。**
有線非常ボタン（市販品）を押して通報中は、ワイヤレス子機ではバイブレータが断続的に振動しています。バイブレータが断続的に振動しているワイヤレス子機で非常ボタンを押しても、その操作は受け付けられません。
※詳しくは、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。

その他

Q ***110番（警察通信指令室）が応答しないときは？***

A **110番（警察通信指令室）がお話し中などで応答しないときや、約34秒間呼び出しても応答しないときは、通報を495回（最初の通報を含む）繰り返します。495回通報を行っても正常に終了できなかった場合は、一般宛先への通報が設定されていると、その宛先へ通報されます。**

システムデータ設定一覧

設定した値をユーザ設定値に記入しておくと便利です。太字は初期値（お買い求め時の設定）です。

項 目		設定内容	ユーザ設定値
通報宛先設定 （P01 ～ P08） P01-001 （例） 0312341111 ① P01-002 2002109 ② ③	①通報宛先番号設定	• 通報宛先１～８の通報宛先番号を設定する（最大 32 桁） • 入力可能文字は０～９、＊（スター）、#（シャープ）、ー（ハイフン）、P（ポーズ）	P01: P02: P03: P04: P05: P06: P07: P08:
	②通報方式	• 通報宛先１～８の通報方式を設定する ０：音声通報３（一般宛先：通話のみ） １：音声通報４（一般宛先：メッセージのみ） **２：音声通報５（一般宛先：メッセージ→通話）** ３：データ通報１（SLA） ４：データ通報２（SLB）	P01: P02: P03: P04: P05: P06: P07: P08:
	③ガイダンス設定	• 通報宛先１～８のガイダンスを、以下の音声メッセージを３つまで組み合わせて設定する 00：固定メッセージ（「非常通報、非常通報」） 01：固定メッセージ（「逆信してください」） 02：固定メッセージ（「非常通報の試験です、非常通報の試験です」） 03：固定メッセージ（「センサ異常、センサ異常」） 04：固定メッセージ（「緊急通報、緊急通報」） 05：固定メッセージ（「応答確認してください」） 06：固定メッセージ（「切断してください」） 07：固定メッセージ（「すぐ来てください」） 09：固定メッセージ（メッセージなし） 11～20：録音メッセージ０～９ 21：音声 ID コードの合成音声 **※初期値：002109（「非常通報、非常通報、こちらは（音声 ID コード）です。」）**	P01: P02: P03: P04: P05: P06: P07: P08:

ワンポイント

● **＊（スター）、#（シャープ）、P（ポーズ）、ー（ハイフン）を入力するには**
↑ボタン、↓ボタンを押して選択します。
＊：音声案内の「スター」です。
#：音声案内の「シャープ」です。
P：音声案内の「ポーズ」です。約３秒間のダイヤル待ちが入ります。
ー：音声案内の「の」です。

お願い

● 電話番号は必ず市外局番から入力してください。

項　目		設定内容	ユーザ設定値
テスト通報宛先設定 （P09） （例） 0312345678		• テスト通報宛先の電話番号を設定する（最大32桁） • 入力可能文字は0～9、＊（スター）、＃（シャープ）、－（ハイフン）、P（ポーズ）	P09:
通報宛先0設定 （P10） P10-001 （例） 110 ① P10-002 100 ②④ ③	①通報宛先番号設定	• 通報宛先0の通報宛先番号を設定する（最大32桁） • 入力可能文字は0～9、＊（スター）、＃（シャープ）、－（ハイフン）、P（ポーズ） **※初期値：110** 初期値「110」は変更しないでください。	P10:
	②通報設定	• 通報宛先0の通報設定を行う 0：音声通報1（110非常） **1：音声通報2（110緊急）**	P10:
	③通報方式	• 通報宛先0の通報方式を設定する • 通報設定が音声通報1（110非常）設定時のみ有効 **0：非常通報（合成音声＋録音音声）** ・「非常通報、非常通報」＋録音メッセージ1+「逆信してください」 1：非常通報（録音音声のみ） ・録音メッセージ0+録音メッセージ1+録音メッセージ2	P10:
	④通話時間設定	• 通報宛先0との連続通話時間を設定する • 通報設定が音声通報1（110非常）設定時のみ有効 **0：無制限** 1：60分	P10:
センサ設定 （P20）		• センサ1～4の接続有無を4桁で設定する • 左からセンサ1～4に対応する • 「3：その他センサ（通報遅延）」は、その他センサから通報したときに、起動から一定時間たってから通報する 0：接続なし 1：接続あり 2：その他センサ 3：その他センサ（通報遅延） **※初期値：0000（センサ接続なし）**	P20:
センサ通報設定 （P21～P24） 123……101200 ①　③　④ ② 	①通報先指定	• センサ1～4作動時の通報宛先を設定する • 宛先は最大8か所まで指定可能 • 2桁目以降への通報宛先0の入力は不可 0：通報宛先0 1～8：その他の通報先 **※初期値：通報宛先123**	P21: P22: P23: P24:
	②巡回回数設定	• センサ1～4作動時の巡回回数を設定する 0：1回 **1：3回** 2：5回	P21: P22: P23: P24:
	③巡回終了条件設定	• センサ1～4作動時の巡回終了条件を設定する **0：全宛先応答** 1：一宛先応答	P21: P22: P23: P24:

（次ページに続く）

付録

システムデータ設定一覧

項　目		設定内容	ユーザ設定値
センサ通報設定 （P21～P24）	④センサ連動設定	• センサ通報時に連動する接点１～４を４桁で設定する（４桁） • 左から接点１～４に対応する ０：連動なし １：連動する（ランプ１制御） ２：連動する（ランプ２制御） ３：連動する（通報動作中） ４：連動する（回線捕捉中） **※初期値：1200（接点１連動する（ランプ１制御）、接点２連動する（ランプ２制御）、接点３連動なし、接点４連動なし）**	P21: P22: P23: P24:
子機グループ設定 （P25） P25-001 （例） 1111100000 ① P25-002 0000000000 ②	①ワイヤレス子機１～10	• ワイヤレス子機（１～10）を４つのグループに分け、グループごとに通報設定できる ０：接続なし １～４：グループ１～４ **※初期値：1111100000（子機１～５はグループ１、子機６～10はグループなし）**	P25:
	②ワイヤレス子機11～20	• ワイヤレス子機（11～20）を４つのグループに分け、グループごとに通報設定できる ０：接続なし １～４：グループ１～４ **※初期値：0000000000（子機11～20はグループなし）**	P25:
子機通報設定 （P26～P29） 123‥‥101200 ①　②③④	①通報先指定	• 子機グループ１～４の通報宛先を指定する • 宛先は最大８カ所まで指定可能 ０：通報宛先０ １～８：通報宛先１～通報宛先８ ９：受理用電話機を呼び出す **※初期値：123（通報宛先１、通報宛先２、通報宛先３）**	P26: P27: P28: P29:
	②巡回回数設定	• 子機グループ１～４の通報時の巡回回数を設定する ０：１回 **１：３回** ２：５回	P26: P27: P28: P29:
	③巡回終了条件設定	• 子機グループ１～４の通報時の巡回終了条件を設定する **０：全宛先応答** １：一宛先応答	P26: P27: P28: P29:
	④センサ連動設定	• 子機グループ１～４の通報時に連動する接点１～４を設定する（４桁） • 左から接点１～４に対応する ０：連動なし １：連動する（ランプ１制御） ２：連動する（ランプ２制御） ３：連動する（通報動作中） ４：連動する（回線捕捉中） **※初期値：1200（接点１連動する（ランプ１制御）、接点２連動する（ランプ２制御）、接点３連動なし、接点４連動なし）**	P26: P27: P28: P29:

項　目		設定内容	ユーザ設定値
定時通報設定 （P30） 0・・・10010000 ①②③④⑤	①通報動作有無設定	• 定時通報時の通報動作の有無を設定する **0：しない** 1：する	P30:
	②通報先指定	• 定時通報時の通報宛先を設定する • 宛先は最大３か所まで指定可能 • 通報先として通報宛先１～８が選択可能 • 通報宛先設定（P01 ～ 08）の通報方式を「3：データ通報１（SLA)」または「4：データ通報２（SLB)」に設定した通報先を選択する	P30:
	③巡回回数設定	• 定時通報時の巡回回数を設定する 0：１回 **1：３回** 2：５回	P30:
	④巡回終了条件設定	• 定期通報時の巡回終了条件を設定する **0：全宛先応答** 1：１宛先応答	P30:
	⑤定時通報周期時間	• 定時通報周期時間を設定する • 日時指定のときは日付（01 ～ 28）と時刻（0000 ～ 2359）を入力する • 曜日指定のときは曜日（41：月曜日～ 47：日曜日）と時刻（0000 ～ 2359）を入力する **※初期値：010000（各月の１日 00 時 00 分に通報する）**	P30:
BATT 交換通報設定（注）（P36） 0・・・100101010000 ①②③④⑤	①通報動作有無設定	• 電池交換時期の通報動作の有無を設定する **0：しない** 1：する	P36:
	②通報先指定	• 電池交換時期の通報宛先を設定する • 宛先は最大３か所まで指定可能 • 通報先として通報宛先１～８が選択可能	P36:
	③巡回回数設定	• 電池交換時期の巡回回数を設定する 0：１回 **1：３回** 2：５回	P36:
	④巡回終了条件設定	• 電池交換時期の巡回終了条件を設定する **0：全宛先応答** 1：１宛先応答	P36:
	⑤電池交換時期日時指定	• 電池交換時期を 10 桁で設定する 年（西暦下２桁） 月（01 ～ 12） 日（01 ～ 28） 時刻（0000 ～ 2359） **※初期値：0101010000（01 年 01 月 01 日 00 時 00 分）**	P36:

付録

（次ページに続く）

システムデータ設定一覧

項　目		設定内容	ユーザ設定値
通報失敗履歴通報（注） （P37） ・・・10 ①②③	①通報先設定	• 通報失敗履歴通報の通報宛先を設定する • 宛先は最大３か所まで指定可能 • 通報先として通報宛先１～８が選択可能	P37:
	②巡回回数設定	• 通報失敗履歴通報の巡回回数を設定する ０：１回 **１：３回** ２：５回	P37:
	③巡回終了条件設定	• 通報失敗履歴通報の巡回終了条件を設定する **０：全宛先応答** １：１宛先応答	P37:
異常通報設定（注） （P38） ・・・100000 ①②③④	①通報先指定	• 状態異常時の通報宛先番号を設定する • 宛先は最大３か所まで指定可能 • 通報先として通報宛先１～８が選択可能	P38:
	②巡回回数設定	• 状態異常時の巡回回数を設定する ０：１回 **１：３回** ２：５回	P38:
	③巡回終了条件設定	• 状態異常時の巡回終了条件を設定する **０：全宛先応答** １：１宛先応答	P38:
	④接点連動設定	• 異常通報時に連動する接点１～４を設定する（４桁） • 左から接点１～４に対応する ０：連動なし １：連動する（ランプ１制御） ２：連動する（ランプ２制御） ３：連動する（通報動作中） ４：連動する（回線捕捉中） **※初期値：0000（接点１～４連動なし）**	P38:

（注）：通報宛先設定（P01～P08）の通報方式が「3：データ通報１（SLA）」または「4：データ通報２（SLB）」に設定されているときのみ有効です。

項　目		設定内容	ユーザ設定値
録音メッセージ0～9操作（P40～P49）	メッセージ録音	• 録音メッセージ0～9を録音する **※初期値：メッセージなし**	P40: P41: P42: P43: P44: P45: P46: P47: P48: P49:
	メッセージ再生	• 録音メッセージ0～9を再生する	
	メッセージ消去	• 録音メッセージ0～9を消去する **0：消去しない** 1：消去する	

（次ページに続く）

ワンポイント

● **音声メッセージを録音するには**

EL-1受理用電話機（オプション）またはお手持ちの電話機（市販品）を電話機コードで通報装置のINTELコネクタに接続して行います。

音声メッセージは最大20秒間、10パターン（P40～P49）まで録音することができます。

①P40～P49を選択して決定ボタンを押す。

②電話機のハンドセットを取りあげる。

「録音を開始します。発信音の後にメッセージをどうぞ。」という音声案内の後、「ピッ」という音が聞こえます。

③音声メッセージを録音した後、ハンドセットを置く。

ハンドセットを置かないときは、録音開始から約20秒たつと自動的に録音を終了します。

システムデータ設定一覧

項　目		設定内容	ユーザ設定値
通報履歴表示 （P60） ①　② No.001/　000/ 200406141154-0-3 ③　④ ⑤	①履歴番号 ②情報コード ③日時（西暦、月日、時分） ④通報宛先 ⑤結果	• 通報履歴情報を表示する • ↑ボタンまたは↓ボタンを押すと表示履歴を順送りに表示できる • 履歴表示中、↑ボタンまたは↓ボタンを約２秒押し続けると５件先の履歴を表示する	P60:
システム履歴表示 （P61） ①　②　③ No.001/　00-00/ 200406141154-0 ④　⑤	①履歴番号 ②情報コード ③端末コード ④日時（西暦、月日、時分） ⑤状態	• システム履歴を表示する • ↑ボタンまたは↓ボタンを押すと表示履歴を順送りに表示できる • 履歴表示中、↑ボタンまたは↓ボタンを約２秒押し続けると５件先の履歴を表示する	P61:
失敗履歴通報起動 （P62）		• データ通報の通報失敗履歴通報を起動する **0：通報しない** １：通報する（決定後テストモードへ遷移）	P62:
入力確認 （P63）		• 入力状態を確認するかどうかを設定する • 入力確認時に異常がなければ「イジョウナシ」と表示される。異常があった場合、センサ１～４、回線状態、電池状態の順で表示される • ２件以上の異常がある場合、↑ボタンまたは↓ボタンを押すと順送りに表示できる **0：確認しない** １：確認する	P63:
親機 SO 解除 （P64）		• 通報装置本体に登録されているワイヤレス子機を解除する • 解除する子機番号（01 ～ 20）を入力し、実行ボタンを押す	P64:
接点確認 （P65）		• 接点出力を確認する • ↑ボタンまたは↓ボタンを押して接点１～４を選択する • 接点を選択後、実行ボタンを押すと接点が約１秒間作動する	P65:
子機 SO 登録 （P66）		• 通報装置本体に登録するワイヤレス子機の子機番号（01 ～ 20）を入力し、実行ボタンを押す	P66:
通話確認 （P67）		• ワイヤレス子機と受理用電話機で通話ができることを確認する	P67:

項　目		設定内容	ユーザ設定値
子機番号確認 （P68） <ワイヤレス子機の非常ボタンを押したとき> コキ XX-YY ①　②	①子機番号（1～20） ②CS番号（内蔵は00）	• 登録されているワイヤレス子機の番号を確認する • 通報装置のディスプレイにP68の設定画面を表示させた状態でワイヤレス子機の非常ボタンを押すと、その子機番号（01～20）と接続CS番号（内蔵CSは00）を表示できる	P68:
CSパラメータ （P69） P69-001 28242324 ①②③④ P69-002 2303623036 ⑤⑥⑦⑧	①待ち受けゾーン選択レベル ②待ち受けゾーン保持レベル ③再発呼型ハンドオーバー処理レベル ④再発呼型ハンドオーバー先ゾーン選択レベル	• 内蔵CS、増設CS1～16のCSパラメータの書き込み／読み出しができる • CS番号は00固定。内蔵CS／増設CSは共通パラメータ **※初期値：28242324**	P69:
	⑤TCH切替型ハンドオーバー処理レベル ⑥チャネル切替FERしきい値 ⑦CSハンドオーバー処理レベル ⑧CSチャネル切替FERしきい値	• 内蔵CS、増設CS1～16のCSパラメータの書き込み／読み出しができる • CS番号は00固定。内蔵CS／増設CSは共通パラメータ **※初期値：2303623036**	P69:
失敗履歴消去 （P70）		• 通報失敗履歴を消去するかどうかを選択する **0：消去しない** 1：消去する	P70:
端末ID設定 （P71）		• データ通報時に使用するIDを設定する（最大16桁） • 入力可能文字は0～9	P71:

付録

（次ページに続く）

システムデータ設定一覧

項　目		設定内容	ユーザ設定値
音声 ID 設定 （P72）		• 音声通報時に使用する ID を設定する（最大 32 桁） • 入力可能文字は 0 ～ 9、＊（スター）、＃（シャープ）	P72:
暗証番号設定 1 （P73）		• テレコントロール時に使用する暗証番号 1 を設定する • リモートメンテナンス時に使用する暗証番号 1 ～ 2 を設定する • 使用可能文字は 0 ～ 9 • 4 ～ 16 桁設定可能 • 1 ～ 3 桁は登録できない • 入力が 0 桁の場合、リモートメンテナンスはできない	P73:
暗証番号設定 2（専用のセンタ装置のみ使用可） （P74）			P74:
増設 CS 接続確認 （P75）		• 接続されている増設 CS アンテナを確認する	P75:
非常通報モード （P76） 1005 ①②③	①応答後ガイダンス送出待ち時間設定	• 非常通報時に、通報先の音声を検出できない場合、通報先が応答してから通報メッセージを送出するまでの時間を設定する 0 ：5 秒 **1 ：10 秒**	P76:
	②音声検出確定時間設定	• 非常通報時に、通報先の音声を検出して通報先が応答したと判定する、音声検出時間を設定する **0 ：約 250ms**　1 ：約 600ms 2 ：約 1 秒　3 ：約 2 秒 4 ：約 3 秒　5 ：約 4 秒	
	③逆信待ち時間設定	• 非常通報後に 110 番（警察通信指令室）からの電話（逆信）を待ち受ける時間を設定する 01 ～ 60 ：1 秒～ 60 秒 **※初期値　05 ：5 秒**	
LCD 濃度調整 （P78）		• ディスプレイの濃度を←ボタンまたは→ボタンを押して調整する **※初期値：3 段階中の 2 段階目**	P78:
カレンダ入力 （P79）		• 日時（年月日時刻）を設定する 年（西暦を下 2 桁） 月（01 ～ 12） 日（01 ～ 31） 時刻（0000 ～ 2359） **※初期値：0401010000（04 年 01 月 01 日 00 時 00 分）**	P79:
送受話 PAD 設定 （P87） 11 ①②	①送話 PAD	送信するこちらの音声の大きさを設定する 0 ：小 **1 ：標準** 2 ：大	P87:
	②受話 PAD	相手の声の大きさ（受話音量）を設定する 0 ：小 **1 ：標準** 2 ：大 3 ：特大	P87:

項　目		設定内容	ユーザ設定値
回線種別設定 （P90）		• 回線種別を設定する **0 ： PB** 1 ： 10PPS 2 ： 20PPS 3 ： AUTO	P90:
自動応答時間 （P91）		• リモートメンテナンス時に電話がかかってきたときの応答時間を設定する **1 ：オウトウシナイ（自動応答しない）** 2 ：ソクジオウトウ（即時応答） 3 ： 3ビョウ（3 秒後に応答） 4 ： 9ビョウ（9 秒後に応答） 5 ： 15 ビョウ（15 秒後に応答） 6 ： 30 ビョウ（30 秒後に応答） 7 ： 60 ビョウ（60 秒後に応答）	P91:
通報共通設定 （P92） 0001100 ①③⑤⑦ ②④⑥	①音声通報時の相手応答判定	• 音声通報時の相手応答判定の有無を設定する **0 ：しない** 1 ：する	P92:
	②音声通報時のメッセージ送出回数設定	• 音声通報時のメッセージ送出回数を設定する **0 ： 2回** 1 ： 10回	P92:
	③通報完了条件設定（注）	• 通報完了条件の設定 **0 ：通報正常終了** 1 ：各ボタン復旧	P92:
	④音声通報時の通話時間設定	• 音声通報時の通話時間を設定する 0 ：無制限 **1 ： 30 秒**	P92:
	⑤テレコントロール機能の有無	• テレコントロール機能の有無を設定する 0 ：動作しない **1 ：動作する**	P92:
	⑥通話接続先設定	• 通話接続先を設定する **0 ：子機マイク／子機レシーバ** 1 ：外部マイク／外部スピーカ 2 ：子機マイク／外部スピーカ	P92:
	⑦外部マイク接続有無設定	• 外部マイクが接続されているかどうかを設定する **0 ：接続なし** 1 ：接続あり	P92:

（注）：通報共通設定（P92）の通報完了条件設定が「1 ：各ボタン復旧」に設定されているときは、各ボタン復旧後、通報停止ボタンを約 2 秒以上押すと復旧します。

（次ページに続く）

付録

システムデータ設定一覧

項　目		設定内容	ユーザ設定値
通報の有無 （P93） 0000 ①②③④	①筐体異常通報有無	• 筐体異常時の通報をするかどうかを設定する **0：しない** 1：する	P93:
	②有線非常ボタン故障通報有無	• 有線非常ボタン故障時の通報をするかどうかを設定する **0：しない** 1：する	P93:
	③電池容量劣化通報有無	• 電池容量劣化時の通報をするかどうかを設定する **0：しない** 1：する	P93:
	④停電／復電通報有無	• 停電／復電時の通報をするかどうかを設定する **0：しない** 1：する	P93:
電池異常検出 （P94）		• 電池パックの状態異常を検出するかどうかを設定する **0：検出しない** 1：検出する	P94:
受理用電話設定 （P95） 01 ①②	①受理用電話機接続有無	• 受理用電話機の接続の有無を設定する **0：接続なし** 1：接続あり	P95:
	②呼出音設定	• 受理用電話機の呼出音の有無を設定する 0：呼出音なし **1：呼出音あり**	P95:
RS232C 接続設定 （P96）		• シリアルポート（RS-232C）に接続する機器を設定する **0：なし** 1：宛先表示 2：通報元表示	P96:
断線警報 （P97）		• 回線断線時の警報動作について設定する **0：動作しない** 1：動作する	P97:
第 2 トーキー設定 （P98）		• モニタリングで使用する第 2 トーキー（メッセージ）を設定する **00：固定ガイダンス** 20～29：録音メッセージ0～9	P98:
システムデータ初期化 （P99）		• システムデータを初期化するかどうかを設定する（履歴情報、時刻情報、録音メッセージ、子機 SO 登録情報、CS パラメータ情報を除く） **0：初期化しない** 1：初期化	P99:

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、次の表をご確認ください。そのうえで問題が解決しなかった場合には、局番なしの 113 番へご連絡ください。

こんなとき	確認してください	対　処	参照ページ
動作しない	電源プラグが外れていませんか？	正しく接続してください。	☛P42
	通報装置とオプション機器が正しく接続されていますか？	接続コードなどが外れていないかどうかをご確認のうえ、局番なしの113番へご連絡ください。	—
	オプション機器接続時のループ抵抗が線長制限を超えていませんか？	当社のサービス取扱所までご連絡ください。	—
異常通報しない	通報先は設定されていますか？	当社のサービス取扱所までご連絡ください。	—
	通報の有無を「する」に設定していますか？		
異常ランプが点滅している	電話回線、オプション機器は正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	☛P42
ワイヤレス子機で相手の声が小さい	送受話 PAD 設定の受話 PAD 設定で、相手の声の大きさ（受話音量）を「2 ：大」または「3 ：特大」に設定してください。		☛P78

索引

記号／数字／アルファベット

←→↑↓ボタン ……19,51
110番 ……30,32
INTEL コネクタ ……19,42
ISDN 装置 ……61,63,64
LINE コネクタ ……19,42
Q&A ……66
RL コネクタ ……19,64
RS-232C 端子 ……19,64
SENS コネクタ ……19,64
ST ユニット ……61,63

五十音

【あ行】

アース線 ……42,64
アンテナ ……16,42
異常検出 ……40
異常通報 ……39
異常ランプ ……16,17
一般宛先通報 ……13,26
　通報先が応答してから通話する ……27
　通報先に通報メッセージを流してから通話する 26
　通報先に通報メッセージを流す ……28
遠隔操作 ……36
音 ……66
オプション ……61

【か行】

回線断線検出機能 ……40
回転灯 ……62
外部スピーカ ……62
外部接続端子 ……64
外部マイク ……62
会話／モニタ切替機能 ……29
各部の名前とはたらき ……16
壁掛け ……20
カレンダ機能 ……35,53
逆信 ……32
筐体異常通報 ……39
緊急通報 ……13,30
　110番が応答しないとき ……69
圏外 ……67
圏外警報音 ……67
子機ランプ ……16,17
故障かな？と思ったら ……81

【さ行】

システムデータ
　システムデータ項目一覧表 ……56
　システムデータ設定一覧 ……70
　設定の手順 ……51
実行ボタン ……19
自動応答 ……54
充電 ……68
受理用電話機 ……42,61,64
仕様 ……84
状態ランプ ……16,17
制御通報 ……39
接続 ……42
セット ……15
増設 CS アンテナ ……62,63,64
増設 CS アンテナ収容装置 ……62,63,64

【た行】

タンパスイッチ ……19
通報停止ボタン ……19
通報の種類 ……13
　一般宛先通報 ……26
　緊急通報 ……30
　非常通報 ……32
通報メッセージ
　回数 ……29,59,79
　内容 ……29,56,70
　録音する ……57,75
通報履歴 ……76
定時通報 ……39
ディスプレイ ……16,18
停電 ……23,25
停電／復電通報 ……39
テスト通報 ……49
テストモード ……44,51
テレコントロール ……36
電源スイッチ ……19,42
電源プラグ ……42,64
電源ランプ ……16,17

電池交換時期通報 39
電池残量 68
電池パック
　使用可能時間 24
　取り付ける 23
電池容量劣化通報 39
電話回線の種別
　設定する 44
電話番号の登録
　こちらの電話番号を登録する 46
　通報先の電話番号を登録する 47
特長 12
取消ボタン 19

【は行】

配線・設置・設定の手順 41
配線のしかた 64
発報確認ランプ 61
発報用ブザー 62
非常通報 13,32
　110番が応答しないとき 69
日付と時刻の設定 53
便利な機能 35
保守サービスのご案内 85

【ま行】

メンテナンスモード 51
モードの選択 52

【や行】

有線非常ボタン 62
　通報を行う 29,31
　非常通報を行う 33
有線非常ボタン故障通報 39
横置き 22

【ら行】

ランプ表示 17

【わ行】

ワイヤレス子機 12
　ワイヤレス子機 61
　ワイヤレス子機M 61

付録

仕　様

使用回線	当社の提供する一般電話回線
ダイヤル方式	PB または DP（10PPS、20PPS）
通報種類	110 番以外への通報：５種類 110 番通報：２種類
通報宛先	10 宛先（一般宛先８か所、110 番、テスト通報宛先）
通報方式	合成音声通報方式、録音音声通報方式
使用電源	AC100 V ± 10 V　50 ／ 60 Hz
寸法・質量	幅約 210 mm ×高さ約 300 mm ×奥行き約 74 mm（アンテナ部を除く） 約 1.9 kg（電池パック含む）
消費電力	最大約 12 W
動作温度、湿度	0 ～ 40 ℃、20 ～ 90 % RH（結露しないこと）

保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1 年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	• 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	• 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用、および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますので、ご了承ください。） • 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

● 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの 113 番へご連絡ください。

● お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの 114 番へご連絡ください。

● その他

定額保守サービス料金については、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーアクセス 0120-970413
（03-5667-7100 ※）
※携帯電話・PHS・050IP 電話用　通話料金がかかります

受付時間　9：00～21：00
※年末年始 12 月 29 日～ 1 月 3 日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーダイヤル 0120-109217（トークニイーナ）

受付時間　9：00～17：00
※年末年始 12 月 29 日～ 1 月 3 日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

● 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7 年間保有しています。

921858A4

MEMO

環境基準ラベル
「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「＜追補版＞通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

＜環境に配慮した素材の採用＞

- ●弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- ●弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
- ●酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- ●焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
- ●廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- ●取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

＜リサイクルしやすい設計＞

- ●製品のリサイクル可能率を70％以上とします。
- ●リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

＜環境に配慮した梱包材＞

- ●発泡スチロールの使用量を削減します。

＜省エネルギー＞

- ●省エネルギーを考慮した設計を行います。
- ●国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。

本商品はダイナミックエコマーク認定製品です。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。　環境を考えて大豆インクを使用しています

PRINTED WITH SOY INK™

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ： http://www.ntt-east.co.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-970413
（03-5667-7100※）
※携帯電話・PHS・050IP電話用　通話料金がかかります

受付時間　9：00～21：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-109217（トークニイーナ）

受付時間　9：00～17：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2006 NTTEAST・NTTWEST

NTT

本2683-3（2006.2）
EL-1Wツウホウソウチトリセツ